京城日報

十一月廿七日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇前獨帝引渡交渉

巴里來電＝エコー、ド、パリ紙の所報に依れば聯合國は前獨逸皇帝の引渡を和蘭政府に交渉せるが未だ何等決定せることなきもの如し但和蘭の前獨帝待遇振りは國際法上より見て不當と見做されつつあり(東京特電)

◇獨軍伯林に向ふ

アムステルダム來電＝獨逸軍隊は前線地より伯林方面へ向け列車を奪取し先を爭うて逃走しつゝあり(桑港電報)

◇白軍ルテウアン通過

ブラッセル來電＝白耳義軍はルテウアンを通過せり(桑港電報)

◇ウ氏米軍視察

巴里來電＝米國大統領ウヰルソン氏は佛國戰場を訪ね米軍を視察し一月下旬華盛頓に歸還すべしと(東京特電)

◇大統領發期變更

某所着電＝米國大統領ウイルソン氏は十二月二日開會の國會に出席したる上正式の承認を經て七八日頃紐育出帆のレ、ハイマサン號に便乘佛國に向け出發す可く隨員は同夫人を初め十數名也と(東京特電)

◇米物品註文取消

華盛頓來電＝米國陸軍卿ベーカー氏は十三億四千六百萬弗の戰時用物品註文契約を取消す旨發表せり(東京特電)

◇米國大藏卿辭職

某所着電＝米國大藏卿兼鐵道總監(マツクアドー氏)は辭職せるが其辭由は家事上の都合に依るものなりと(東京特電)

◇露波兩軍戰鬪

某所着電＝小露軍と波蘭軍との間に昨今小戰鬪交へられつゝあるが右は國境の決定に關し意見の扞格ある爲めなるものゝ如し(東京特電)

◇東清鐵運賃改正

東清鐵道は貨物運賃並に浦鹽埠頭使用料を十二月一日より改正の旨公示せり(東京特電)

◇聖上行幸仰出

天皇陛下には廿九日午前九時卅分御出門陸軍大學校卒業式に行幸あらせらるゝ旨仰出されたり(東京特電)

◇典範增補御奉告公示

二十八日は皇室典範增補御奉告御祭に就き床次內務大臣は省令第二十號を以て皇大神宮豐受神宮並に各別宮御祭祀御次第書及び祝詞を公示されたり尚當日は塚本神社局長出張す可し(東京特電)

◇勅語下賜

海軍省公表＝廿六日我特務艦隊に對し優渥なる勅語を賜はりたり(東京特電)

◇山公歸京期 講和問題意見交換

山縣公は二十八日頃小田原より歸京の筈なるが公の歸京後各元老會合し講和問題に就き意見の交換を爲すべしと(東京特電)

◇精神病院法案

內務省にては來期議會に提出すべき精神病院法案を二十六日中央衛生會に諮問せり(東京特電)

◎西比利亞貿易 漸次復活せん

我露領西伯利亞に對する輸出は開戰以來頗る殷賑を呈し大正三年度の一千四百萬三千圓より同四年には一躍七千八百三十九萬九千圓に增加し更に五年には一億一千七百六十九萬三千圓に激增したるが六年中頃露國內亂勃發と同時に取引次第に圓滑を缺き加ふるに留貨幣の暴落するあり本年に入りては殆んど全滅の狀態に陷りたるが同地物資の缺乏は其極に達し之が補充の爲五六月頃より本邦貨物の輸入を促したるより次第に商活の徵候を現はすに至れり政府當局に於ても戰後本邦商品の仕向地として同地は相當に有望なるを見越し且つ哈爾賓に商品陳列館を設置して本邦商店の紹介に努めつゝあるが尚平和克復と同時に我對露領亞細亞の輸出は次第に旺盛を呈するに至るべく觀測されつゝあり今同地輸出の長を見るに左表の如し(單位千圓)

月次	六年	七年
一月	四,五〇九	九三一
二月	五,一七三	一,八七
三月	七,八九八	七一四
四月	七,一六二	五六一
五月	九,四四一	二,四七二
六月	九,九〇七	一,八八
七月	六,四七二	二,三三五
八月	六,五三八	一,四九一
九月	六,八〇四	一,九五六
十月	三,九一九	
十一月	三,五四三	
十二月	二,七一七	

新男爵 高橋新吉氏　同 園田孝吉氏　同 益田孝氏

聖上行幸 海軍三校卒業式へ

築地海軍大學校海軍經理學校並に海軍軍醫學校にては二十六日卒業式舉行に就き 天皇陛下には午前九時三十分御出門通常御服にて勳位菊花章御佩用內山侍從武官長御陪乘久供奉員を從へさせられ同九時四十五分御著先導にて階上便殿に入御御休憩中伏見宮殿下に御對顏三校長及び元帥以下參列諸職員に拜謁仰付けられ三校長より卒業證書授與式に關する書類を捧呈し佐藤大學校長の御先導にて講堂に臨御優等學生の講演を最も御熱心に聞召されたる後便殿に入御更に卒業證書授與式場に臨御佐藤校長より各學生に對し證書を一括授與し優等學生七名に對しては向井侍從武官より御下賜の賞品を傳達して茲に式を終り 陛下には便殿に御少憩後諸員奉送裡に還御遊ばされたり(東京特電)

◎東京京城二番線の開通

遞信省臨時事件費にて關釜間海底線を新設し東京下關並に釜山京城間は急に應ずるため既設線の切替を行ひし東京京城二番線は二十六日工事を完了し同日試驗を行ひたる結果良好なりしを以て二十六日夜より通信を開始したり唯當分は上回設東京京城線の如き通信能力の開機械の調度その他諸種の關係は發揮し得ざる由なれどその完成も近かるべし尚ほ同線は中間に□を加へたるに付今後東京大阪京城相互間の電報遲延は著しく遲延を來すべしと

本紙定價 一ヶ月金六拾錢 ... 廣告料金 ... 發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 ...

◎我軍近く新活動 西伯利撤退は揣摩臆測

ウラル正面の戰況は既報の如くなるが最近の情報を聞くに西伯利亞に於ける軍團の編成は遲々として捗らず之がため兵力毫も加はること無く僅に露軍四萬チヱ軍

▲約二萬に過ぎず 之に反して過激派軍の兵力は反過激派軍に數倍し常に優勢を保ちつゝあるのみならずチヱ軍の將校は、西部戰場に於て休戰狀態に入りたる今日我等のみ闘ふの必要なし、我等は列國の承認に依てチエックスロバックが獨立國たる以上過激派を敵として闘ふ謂れなしとて戰意全くなく士氣の頽廢は極度に達しつゝあり然れども全露政府に於ては飽くまでも過激派を掃蕩する決心にして過激派よりの休戰提議をも却けたるが戰況依然我に不利にて漸次南東に壓迫され北ウラル正面軍を除く沿カマツ、オレンブルグ方面軍は十月頃の戰線を維持する事能はずして後退するの狀態にあり

▲一說に依れば ウハァ、オレンブルグは既に敵の手に陷ち西伯利軍の一部はオムスク指して再び過激派化さん情勢なるを以て、全露政府が日本軍の來援を待つ事切なるは無理からぬ事、我第三師團にても滿を持して中央部の命令一下を待ちつゝあり一說には獨逸屈伏と共に來春を期して日本兵撤退す可しと傳ふるものあり、又一說には我第三師團の後方部隊が後送さるゝを以て輕卒にも來春を待たず全部を引揚ぐるならんと流言紛々たる有樣なるも、假令西部戰線に於て休戰するとも、露國は全然別個の關係の下にあれば講和の成立奈何と我西伯利

▲出征軍撤退と は何等の關係なきは勿論なり次に我後方部隊の引揚げは最初の策戰に於ても必要なりしも現今に於ては事情全く異なり何等必要を認めざるに至りたるを以て後送するものにして全體的撤退とは何等の關係もなし、寧ろ我軍の西伯利出征の任務は今後にあるを以て我軍にては一方多忙準備に汲々たると共に前進の準備を怠らず、而已ならず第○師團の○○隊其他各方面に動員令下りつゝあるより察すれば我軍の西伯利撤退說の如きは全然臆測に過ぎざるなり、一說には來春を待たずして近々

▲新活動を開始 するやう傳へられつゝあるが、それかあらぬか我前進部隊は何となく色めきつゝあり、中央部より果して前進命令下るや否やは遽に判じ難きも何れ本年內には大體方針決定すべく觀測されつゝあり(十一月十九日チタにて早川從軍記者)

◎土調委員會

高等土地調查委員會 二十七日午前十一時總督府第一會議室に於て高等土地調查委員會を開き山縣政務總監以下各委員出席各道技師十四名及び勸業模範場技師數名出席議事に關する協議を爲すべし

◎農業技術官會議

十二月二日より一週間每日午前より午後四時迄總督府第一會議室に於て農業技術官會議を殖產局長官統裁の下に各道技師十四名及び勸業模範場技師出席議事に關する協議を爲し事務に就き協議したり

◎實業學校長會議 (第一日)

實業學校長會議第一日は二十七日午前九時半總督府第二會議室に於て開會前日に引續き午前中諮問事項答申午後打合せ事項に就き協議し午後四時散會したり

◎休戰と鮮人勞働者 ＝格別の影響なからん＝

生田總督府商工課長談

歐洲戰亂以來我國の工業は頓に活氣を呈し諸種の工業勃興したるが休戰が降服に等しき休戰條約に調印し且實上戰爭の終熄を見たる今日所謂

▲戰時工業と目 すべきものゝ打擊を受け又多數の職工を要せしものも今後世界の大勢に伴ひ事業を縮小すべき結果多數の失業者を生ずべきは豫期し內務省に於ても先般之が善後策を講ずるの目的にて失業救濟委員會なるものを設け其實行方法に就き目下立案中なる由にて現在大阪方面に於て既に二萬の失業者を出したりとの事なり 翻つて朝鮮工業界に於ける戰後の影響如何を觀察するに勿論未だ內地のそれに比し甚だ微々たる朝鮮の工業は失業者を云爲する程度のものに非ず戰時工業と目す可きものとしては

▲朝鮮皮革會社 あるのみなるも同會社は今後更に西伯利經濟援助委員會の爲めに活動する事となり居れるを以て何等の影響もなく西鮮方面に於ては平壤鎭南浦等朝鮮としての工業地なるも當業者は何れも影響無き事を確信しつゝあり又年々に戰時工業と目すべきものなし或は元山の製粉會社に就きても本額北海道の三分の一に過ぎず特に職工を減少する程の事も無かるべく強いて影響と云へば給料に在る鮮人勞働者なるが目下出稼に在る鮮人勞働者は戰亂以來賃率非常の騰勢を示したるは今後は幾分低下する事を覺悟せざる可からず然も彼等が同方面に於て職を失ふも他の方面に於て平和事業の需要盛んなれば憂ふるに足らず寧ろ問題は內地

▲出稼の勞働者 の失業如何にあれど朝鮮人には各種製作に從事する職工なく其大部分は單純なる勞働に從ふ者にて低く賃金も內地人に比し安く然も勞力の提供に於て劣らざる彼等は失職するに至る可しとは考ふる能はず婦人は殆んど全部紡績工場の女工にて今後米綿の統制解除等にて一層殷盛を呈すべき職業なれば需要更に多きを加ふるに至らん然れども當局として彼等鮮人勞働者の將來に就き研究考慮し措置を怠らざるに努め既に各道警務部は各道警務部に通牒して契約對者の調査を精密にし事業の不安定なる者に對しては雇傭の許可を與へず

▲此點に就ては 各府郡と連絡を執り又契約期限(大抵三箇年)の確保に對し雇傭者に保障を與へしめ歸還の旅費は自辨とはなり居れるも契約期間內に解約するものは歸還旅費を支給せしむる事に定め居れば此等の失業者を生ずるが如きことは無かる可きを信ず云々」尙內地渡航の勞働者は募集許可を受けたるもの本年上半期末調査にて總計一萬六千百十人にて今日迄は尚幾分か增加せり此外に單獨渡航者多數あれど之等は未だ調査せるものなし。

▲地方農家 が米價棉花その他生產品の騰貴によりその收入增加したる事は素より疑ふの餘地なきも一方綿布その他の日用雜貨品も一齊に騰貴し居り收入の增加に伴れ支出の增大も避く可からず勞地方農村は大農筋は兎に角として中農以下は世評の如く有利ならざるやも計り難し勞本月末より來月に亘る出殼の狀況は地方農村の財的膨脹力を見る

▲好資料 と云ふべく更に鮮米價格の前途に重要の關係を有するものと見得べし

◎酒造講習會(最終日)

酒造講習會は二十七日午前九時半より總督府食堂に於て開會前日に引續き午前午後に亘り事務打合せを爲し午後四時散會したり

◎電報發著激增

年末期に入り商界の繁忙と株式市場の變動等に基因する電報の發著增加は著しきものあり現に京城郵便局に於ける電報發著數は十一月中に於て平均約一萬五千通內外なりしも最近は二萬通を超え居れりと

◎年末 廻米如何

▲所見一致 地方農村の財的膨脹說は各方面の所見一致し居れるが感冒は近時漸く下火となりつゝあるものゝ如く又天候も漸く安定せりと思はれ更に十二月は地稅の納期に加ふるに年末の大決濟期を控へ居れるに付當然出殼は旬日中に繼續し正米現下の硬調は緩和され更に定期率制を見るべしとの說あり 本年米穀廻着の大延は農家收入の增加に基づく質の惜しみ賣性と感冒大流行の關係に因由する事今日と大差なく地方農家の一兩年來に於ける收益激增が收穫米抱擁力を附與せりと見るも不可なく地方財界の膨脹は驚くべきものありと云ひ得べし

◎首相園侯密議 牧野男へ講和會議大使交渉

二十六日午後原首相は西園寺侯を東京ホテルに訪ひ次いで牧野男を官邸に招き數時間密議したるが同夜首相は更に園侯を駿河臺の本邸に訪ひ講和大使問題に付密議を凝らしたる形跡あり尙首相は屢々高橋氏をして園侯を通じ牧野男に大使の交渉を爲さしめたるものゝ如くなるも今日の所未定なり(東京特電)

◎滿蒙毛織締切 結局五十六倍に達す

東拓滿鐵の後援關東都督府の配當六分保證により設立されし資本金一千萬圓の滿蒙毛織會社の株式申込數合計二十一萬六千株との報告東拓支店に入り居たるが更に今の所得は何れ東京事務所たる拓本社に到着す

◎鮮銀臨時總會

第二回增資經過報告の朝鮮銀行臨時株主總會は來る十二月十二日午後二時東京銀行集會所に於て開會に決定せり

內の申込額は內地のみにて五十萬二千株、朝鮮分三十萬四千株合計八十一萬六千株に達し公募株數一萬五千株に對し五十六倍となれり

◎朝鮮土地計畫 京城

仁川有力實業家の間に最近朝鮮土地經營株式會社設立の計畫あるが會社の目的は三好和三郎氏の所有する土地家屋を買收して倉庫を新築し直ちに之れが貸付業務を開始し兼て火災保險代理店を營むものにして資本金は一百萬圓とし第一回拂込を二十五萬圓之れに三十萬圓の借入金を加へ三好氏より土地家屋の買收及び新築資金に充て以て事業を經營するものにして株式總數二萬株中六千株を三好氏に於て引受け一萬四千株は發起人賛成人に於て引受け公募はなさゞる由又買收土地は京城の重要地に位し將來有望の事業なるも三好氏の土地買收價格は幾分高價に失せずやとの說はあるに似たり

◎中旬鐵道收入

十一月中旬に於ける滿鐵朝鮮の收入は客車二十四萬四千餘圓貨車十七萬八千餘圓合計四十二萬二千餘圓にして前年に比し九萬二千圓を增加し一日一哩收入は三十八圓三十三錢を示せり

◎憲兵隊軍馬輸送

朝鮮各憲兵隊の補充軍馬の輸送は十一月二十八日草梁發晋州全州小城光州四憲兵隊行きを第一着とし二十九日同じく草梁發京城鏡城咸興各隊行きを第二次とし十二月五日東川停車場積込み清州京城公州各隊行きを第三次に更に十二月十日大邱春川兩憲兵隊行きを發送すべく馬匹總數九十八頭なりと

◎繰綿開始期

木浦棉花の出廻りは昨今に至り稍其の數を增加し來れるも尙ほ昨年同期に比すれば云ふに足らず自然各繰綿工場も未だ開始するに至らざるが目下の見込みよりすれば朝鮮棉花各工場は十二月中旬三井鈴木各工場は十二月末頃の作業となるべきか

◎軍司令官動靜

軍司令官宇都宮中將は來月四日頃歸任の豫定なりしも十日頃迄東京に滯在する旨軍司令部に通知ありたり

◎大野軍參謀長歸期

浦鹽派遣軍司令部兵器檢查並に同要塞視察の爲鎭海馬山方面へ出張中なる軍參謀長大野少將は二十八日歸任の筈なり

◎毛利男爵通過

男爵毛利五郎氏は廿七日朝釜山上陸在釜の防長人會の出迎へを受け鐵道ホテルに少憩後午前十時三十分發北行せり因に男は入京後朝鮮ホテルに投宿廿日間滯在の豫定也と(釜山特電)

◎青陽重石鑛視察

朝鮮特種鑛業派遣技師モルガン、クレメンツ氏は二十六日夜行列車にて慶北青陽の重石鑛視察に向ひたるが來月一日頃歸京の上更に西鮮に向ふ由

◎藤村氏歸京

本社營業局長藤村忠助氏は社用を帶びて東上中の處二十六日夜歸京せり

人事消息

▲吉武博士 入京中の處廿七日朝東京へ
▲松永京畿道長官 同水原へ
▲元應常氏(江原道□官) 同日春川より入京天眞樓へ
▲樋田定信氏(平壤電氣支配人) 二十七日朝入京浦尾へ
▲磯野資誠氏(東京明治屋支配人) 同上朝鮮ホテルへ
▲庄田商工課長 令息病氣の爲め出張先より一旦歸京の處二十七日朝南大門驛西鮮方面へ出張
▲和田鐵道局理事 二十六日附往復十二日間の豫定にて鐵道院と事務打合せ並に內地鐵道視察の爲め東京へ出張を命ぜられ二十七日夜南大門驛發
▲東條高軍武官 二十六日仁川へ
▲中川晋吉氏(總督府關稅調查技師) 二十六日附十七日間の豫定にて鎭南浦及仁川稅關管內へ出張を命ぜらる

茶前酒後

◆ウイルソン大統領、ランシング國務卿と相携へて、講和會議に出馬せんとす。大戰の終末と、世界的大平和の斡旋は、自家の使命と心得、之に向つて邁進せんとするは、寔に乃公出でずんばの概あり、彼の得意更に思ふべし。

◆ヴェルサイユに於ける、講和會議は、實に世界未曾有の外交の大舞臺也。其花形役者としては、ウイルソンあり、ランシングあり、ポアンカレーもあらん、クレマンソーもあらん、日、英、獨其他諸國の外交家が、嶄々の手腕を發揮せんも、吾人は窃に之等諸名士の活動以外に、更に艶麗なる活動者の現はるべきを思ふ。

◆ウイルソン君がガルト夫人を娶りたるは、昨今外電の傳ふる處也。昔時より外交の妙機は、舞踏室の間にある椅子にて決すと迄云はる、華やかなる殿堂ヴェルサイユの宮が、國際的交際界の黄金舞臺となるの日、女王として輝く者は、必ずやガルト夫人なるべく、吾人が艶麗なる活動者と稱するは、即ち夫人其人なりとす。

◆ガルト夫人は當年四十一歳、往年フイヤデルフイヤの國色と謳はれたる容色は未だ衰へず、對話の巧妙は人每に艶殺せねば止まざる底の天性を有し。曾て大統領と婚約前大寶石商の未亡人として、萬事を切り廻したる非才は、未だに事々物々に閃けり。此の一輪の名花が、其初舞臺として、ヴェルサイユ宮殿に、如何に其美しき眼を輝かさんとするか。

◆聯合國は和蘭に對し、前獨帝の引渡しを要求せりと。脫網の鯉魚は、愈俎上に來らんとす、其料理方法や果して如何。

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一〇六一二番 電話 二三一、一七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

成金の研究
講和と株式 ＝成金たるべき唯一の途＝ 無代進呈
平和來る!! 講和來る!! 暴惡獨逸は終に講和を提議せり。戰爭より平和へ!そこにあらゆる經濟界の激調があらねばならぬ。殊に我株式界の前途たるや、風か雨か。いづれにせよ波瀾を捲起さずば止まぬであらう。この時代革新大期こそ吾人に執つて一攫萬金を獲得するの絶好機である。來れ株式市場へ!! 然してその方策は弊店調査部が苦心研究せる『講和と株式』此一巻に說きつくせり。希望者は申込次第無代進呈す。
東京日本橋區坂本町十八番地 沖野株式仲買店
電話 長浪花 一九三七番 長二八五番 長四四四番 振替口座東京一六六〇二番

東京 大阪 自動車學校
自動車運轉手短期養成 ●校外生と雖莫大の收入あり
東京市京橋區 大阪市西區
生徒募集 校外生及校內生三百名何人も入學許す規則雜誌送呈

平和株の撰擇
公債株式現物問屋信託 丸五商會 有田長
京城京畿電話局二〇九番

銘柄	拂込金額	時價	備考
南滿洲鐵道株	七十圓	百十四圓	配當增加の見込
同 新株	三十圓	七十六圓	同
朝鮮紡織	十二圓半	二十九圓	今期配當ある見込
朝鮮新	十二圓半	十四圓半	前途有望
東洋拓殖株	五十圓	八十四圓	配當增加の見込
上海取引所株	十二圓半	三十三圓	同
[illegible]	十二圓半	六十三圓	十二月二日當所開始

右賣買共に好値合有之候株式日報御申越次第送呈

軍隊拂下被服類
京城府北米倉町 電話千百十二番 村上商店
營業品目 一、外套、防寒服、襦袢、袴下、毛布 一、狩猟用具、作業用、小倉服、手袋、毛布、靴 改造具、背嚢、其他一式

阿部辰之助著 取次販賣店 嚴松堂
大陸の京城
クロース、菊版七百餘頁 定價貳圓五十錢 送料十八錢
本書は京城に於ける各事業の狀態を詳明し各種企業を勸獎せしめ京城を以て南北滿洲、蒙古、西伯利亞は勿論露支兩國に向て大陸の發展をなさしむべく官民有力者の企業に對する努力を促し且つ京城を知らむと欲する人士の爲め最近調查の實況を示したるものなり
內容第一章は京城の沿革及氣候 第二章府稅の課率及居住者の常に必要なる民籍、土地、家屋、營業、兵籍等の願屆書式及府民に必要なる事項▲第三章學校組合及各學校の狀態及入學の手續▲第四章神社と宗教の區別及各宗教の狀態▲第五章京城商業會議所▲第六章京城に於ける輸移出入貨物及關稅▲第七章道路、交通、及漢江沿岸各地の水運、鐵道貨物の運賃並貨物集散の狀態、通信機關(郵便、電信、電話)各事項▲第八章第十一般として觀たる機關及業に關する狀態と願屆書式▲第九章各銀行狀態▲第十章各會社の營業狀態▲第十一章各商業の狀態及重立たる商店▲第十二章各種工業の狀態▲第十三章土木建築▲第十四章鑛業▲第十五章鐵道運輸通信▲第十六章仲介を目的とする營業の狀態▲第十七章交通金融其他▲第十八新聞雜誌各通信所▲第十九章辯護士、公證人、代書業の現況を示し至極平易に著述したるものにして各階級を通じて必須の好參考書たり
發賣元 京城太平通 電話番號十三番 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

◇大庭將軍に隨つて……(三)

▽雪中で凍酒を嚙りつ 陛下の萬歳を三唱

スレーチエンスクよりオロワンナヤへ 三千四百露里を突破してチタに歸る

十七日オロワンナヤにて 早川磐溪

十六日朝スレーチエンスク兵營を一巡したる我々は大隊本部にて晝食の饗應を受けた、アムール河より漁つた鮭と朝鮮米の東京壽司、西伯利の僻陬地で壽司が食られるとは豫期しない馳走であつた、午後二時發汽車はネルチンスクに引返す途中チエリン驛に汽車を駐めて野戰的酒宴を開く驛構內の

雪中で酒樽の 鏡を拔き

大庭師團長、中尾旅團長以下幕僚及び從軍記者等二十余名互ひに盃を擧け 天皇陛下の萬歳を三唱して酒戰を開はす、此處西伯利の雪の原で銘酒『日の出』を汲み、軍國下の萬歳を高唱する師團長 圍んで萬丈の氣焰を擧ぐる一行の意氣は侮るべからざるものがあつた、此日、日は晴れたりと言へど零下二十度の寒さ酒は凍つて齒に徹みた、ネルチンスクに至れば午後四時半陽は既に雪の曠野に沈んで言ひ難ない悲壯の氣が押し迫つた、カルイムスカヤを黎明に過ぎ、オロワンナヤ驛に到着したのは午前十時、インゴ

行程は西は 貝加爾湖を

超ゐてイルクツク迄、北はカルイムスカヤを經てモゴーチヤまで東はオロワンナヤまで往復延長實に三千四百露里（日本里程約八百五十里）之に要した日數約二週日、師團長以下の元氣は之れに依つて益加はつた

▽庫倫へ

二十日チタにて 早川生

貝加爾州に於ける第三師團管下の各部隊を視察したる一行は更に蒙古の首都庫倫まで冒險旅行を試む可く二十日夜チタを發し途中ヴエルフネウヂンスクに近づきベリヨザフカに吉江旅團を訪ひ萬般の準備を整へたる上ヴエルフネウヂンスクよりセレンガ河の氷上を橇にて下降しトロイツコサフスクに上陸するも陸行して

◎賣買城に 入る可し

同地は蒙支國境として有名の地にして、本年九月頃過激派潜入し附近に騷擾を起し約六百の支那兵に擊退されたる處、目下蒙古の若干兵ありて四方に治安維持に任じつゝありとの說あり、賣買城に於て研究の上前進可能の場合は外蒙に進み南に突破して庫倫に至る計劃なり、同地は獨墺俘虜がゼーアの山中より巨額の金塊を携へて大學

◎西藏方面

に遁走したる際足を止めたる處、今猶過激派の殘類出沒する形跡あり加之零下三十度以上の酷寒襲來し交通の便極めて稀なれば嚴寒中の外蒙入りは頗る困難を極むるであらう

◎饑寒に追はれ 奧地から

出て來て降伏する過激派殘黨

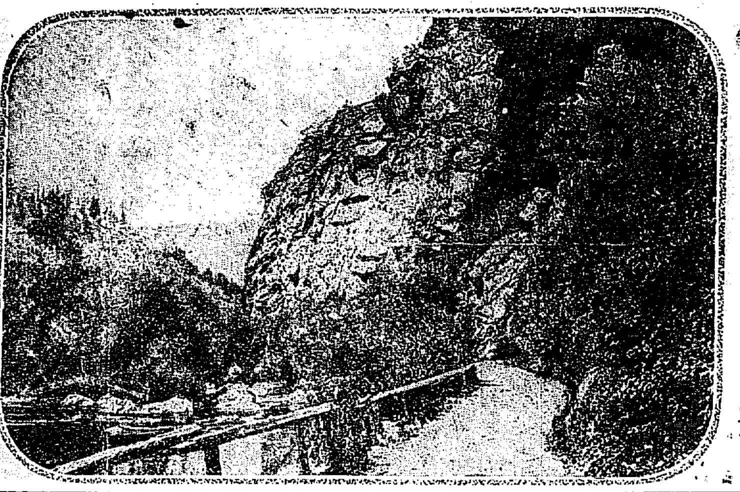
野戰第十二師團の將校十二名下士卒百十五名は新兵教育の爲め廿六日御用船にて門司入港原隊に凱旋せるが右歸來者の談に據れば目下ゼーア附近は寒氣酷烈にて零下三十度を數へ過激派の奧地に潜伏し居りたる者追々其寒氣と饑餓に堪へずして我前線の守備兵に降服し來り哀を請ふもの多く之等は一々ニコリスクに送附し居れるがニコリスクに於て約一千名を收容し居れりと（門司特電）

◎御名代宮 倫敦に御著、

宮內省發表＝東伏見宮殿下には本月十六日羅馬御出發同十八日巴里御著同十八日夜十一時御出發コンノート殿下御同伴十九日午後倫敦に御著ラランッチホテルに入らせられたり（東京特電）

遊牧地で 牛馬の群や 駱駝の群

ダ河を渡つて一歩南すれば後貝加爾特有の景色は無くなつて、茫漠たる草の原となる、沿線到る處さては全身毛皮を纏うたブリヤード族が蒙古馬に跨つて曠野を走る勇壯な姿なども見受けた、トドゴルツイ河から南は後貝加爾と異つて雪は全くなく空も透明になり感じが著しく明るくなつて來た、オロワンナヤは嘗て報じたオノン鐵橋で有名な土地で一時は過激派の巢窟たりし處なるが最近はセミヨノフの威令の下にあつて治安維持は遺憾なく行はれてゐる、オロワンナヤ屯營の〇個大隊の兵營を巡閱した師團長は、此處に全く後貝加爾州內に於ける第三師團の巡閱を終り同日午後二時チタに向つて歸還した



◇スレチエンスク（クレンガに添ふ）の風景

◎實朝公の七百年祭

◇明年三月擧行◇

『山は裂け海はあせなむ世なりとも君に二心われあらめやも』の一首に我が民族忠君の至情を道破したる源家三代の將軍右大臣實朝公は有爲の才を懷きながら

▽北條氏 の羈束を受け僅に廿八歲を一期として兇刄に斃れたのは夙に青史に明記されてゐるが明大正八年は適に公の滿七百年忌に當るので子爵本多正憲氏鶴岡八幡宮司鶴島知一、里見勝太郎、矢野靜、清川來吉諸氏其他發起となり實朝公七百年祭協贊會を

▽設立し 明年三月二日を期し公を祭れる白旗宮（鶴ケ岡八幡宮攝社）に於て記念祭を執行し公の英靈を慰藉し公の遺風を追慕することゝなつた記念祭協贊會の事業として左記條項を行ふ

▲記念祭事業 ▲幣帛供進（大正八年三月二日午前八時）▲獻詠（兼題 前の梅）▲獻詠神前披講（同日午前十時）▲講演（同日午後一時）▲記念品頒布（金槐集及御公歌集、壬生忠見筆朝公遺品模造（納經書自讚宮公の木像公の和歌）▲會員種別 特別會員、普通會員の二種とす ▲申込期限 大正八年一月末日限り

◎釜山の滅燈 又復故障あり

釜山朝鮮瓦斯電氣會社の瓦斯タンクに廿六日又復故障あり瓦斯の送氣無く市中は暗黑となれり（釜山特電）

◎白晝匪賊に 射殺さる

奉天鮮銀より六萬圓を引出た支那店員

二十五日正午奉天小西門裡義和洞の店員王玉仲は朝鮮銀行奉天支店より現金六萬圓を引出し歸店の途中街上に於て突然匪賊に襲はれ拳銃を以て肺部其他數ケ所を射撃され其場に打倒れ賊は該金を强奪して逃去らんとせしも白晝のことゝて何處にか逃走せり被害者は早速奉天赤十字病院に收容應急手當を加へしが生命危篤なり（奉天）

◎獨彈藥列車爆發

アムステルダム來電＝和蘭、白耳義國境バポートに於て一彈藥列車爆發し獨軍の救護班用三列車破壞顛覆し搭乘者八百名死傷せり是が爲め附近一帶火の海を現出し慘憺たる光景筆紙に盡し難し（東京特電）

◎自動車顛覆

二十二日午後四時頃太郎より忠州に向ふ途中忠北槐山郡延豐面小鳥嶺坂路六合目に於て道路より約七間の急傾斜面を顛倒墜落し乘客內地人一名鮮人七名運轉手內地人一名の全部負傷重傷者三名に及び內平安北道碧潼郡守の妻は肺部を强く打撲せしため死亡したり郵便配達夫の急報により延豐駐在所より行救護の任に當り自動車は大破損のため現場に投棄せり原因取調中（清州）

◎內地行鮮人勞働者の 失業を防ぐ爲めに

―警務部當局で調査取締る

講和來でツブれる會社ではないか、規模縮少の虞はないか、歸國旅費を出すか!!!

內地へ行つてゐるもの一萬六千餘人

戰時企業界の勃興に伴れ、雨後の筍のやうに大小成金が簇出し企業界は風船玉のやうに膨脹し切つて勞働者の拂底を告げ內地からは

▼鮮人勞働者 を騙り出しに來た結果大正六年末現在內地在住鮮人勞働者は一萬二千三百十六人を示し本年度上半期に於て許可を得て渡航したもの三千七百九十四人合計

◇一萬六千百十一人 となり此外單獨に渡航した勞働者の數を加算すれば非常な數に上るであらう、斯んな風で勞働者は內鮮人を通じて何れも黃金時代を謳歌して居たが媾和成立の曙光輝いて平和の第一鐘聲が響いて以來企業界の恐慌は一婿八人に嫁一人と云つた格で今まで居た勞働者にも早くも失業者を生むに至つた。而して今や經濟界の變調に伴なふ勞働者の問題は識者の間に憂慮されて居るが朝鮮に於いても其筋にては此點に留意し

▼鮮人勞働者 の失業豫防及び善後策に就て講究中である其方法として當局は勞働者募集願者の事業狀態を精査する爲め會社に在りては最近二回の決算期に於ける事業報告書並に當該勞働者を使用すべき工場又は鑛山に於ける現在使用中の勞働者の種別、人員、標準賃金及び現に朝鮮人勞働者を使用するものに在りては同種の

◇內地人勞働者と比較したる勞働能率の差異に關する狀況を記したる書類を徵し之に依りて事業の性質及び經營の基礎が堅實で近き將來に於て規模縮少等の虞なき會社、工場に限つて募集許可を與ふる方針である。殊に土木建築等一時的事業に使用する者は現に使用中の內地人勞働者に對する一定の比率を超ゐては許可しないこゝし猶

▼雇傭契約書 中には募集者の都合に依り解雇する場合は旅費の支給に關しても夫々明記せしめ失業者の困窮及び勞働者募集の弊を未然に防ぐ方針が定められた

◇熊や狼に襲はれつ 鐵橋守備に任ずる最前線の日本兵

―月明のアムール線を北へ北へと視察して―

我等の列車は月明のアムール線を北に第三師團の最前線なる後バイカル州界に向つて進む此夜零下三十度偶々列車を降れば白樺の林の如く生えたての記者の鬚に白い球を綴るも可笑、斯かる酷寒中にも拘らず雪に埋れた寒驛の守備兵が夜半夢濃かなる師團長の列車に向つて捧げ銃の敬禮をしてゐるのを見受けたが

▲お國の爲め に人知れぬ苦艱を忍ぶ此等兵士を思へば暖き寢臺に黃たはつて從卒の運ぶ弁當を食る我々は冥加に過ぎて勿體ない十四日朝吹雪濛々たるアマゾール驛著、第三師團の最前線の兵は同驛を中心としてチヤソリヤ、チヤチヤトカ等の方面に半小隊乃至一分隊分遣されてゐるのであるが、ウチエーニ驛より州境を超ゆれば黑龍州守備第十二師團の最前線の兵と相見ゆることが出來るのであると言ふまでもなく此の地方はモゴーチヤを中心とする

▲西伯利有名 の酷寒地で本月十日には早くも零下四十度の寒氣が襲來したほどで我將卒の陣營生活は恐らく西伯利出征軍中最も困難を極めるであらう、チヤチヤトカ驛近くの鐵橋守備に服務しつゝある一兵卒の談に依れば、河はもう月初めから結氷してゐる營舍は河畔の一つの家を充てゝ居るが四顧荒涼として眼に觸るゝものは雪の荒野ばかりだ、哨兵は鐵橋の兩端に三十分間交替で立つて居るのだが夜になると熊や狼が襲うて來るので焚火をしてゐる

▲猛獸の多い のには驚いた、日用品の不便は覺悟の前だが通信材料が無いので故鄉へ手紙を出す場合には壁に貼つてある紙を剝いで使つてゐる、內地からは半月もかゝつて手紙が來るが新聞や手紙を見るのが何の位樂みか解らない』雪の河畔に立つて鐵道守備に任ずる兵士の勞苦や如何ばかりであらう、モゴーチヤより南する支線はシルカ河畔のチヤソリヤを終點として居るが此處にも半小隊の守備兵が居つて

▲江上を警戒 してゐるがシルカ河は本月五日頃から結氷して橇が交通してゐる、此邊には今尙過激派の殘類が潜入するので警戒を嚴にして一々橇を點檢して居る數日前も三名の過激派を捕縛したさうである（十五日アマゾールより早川生）

◎襟卷に阿片を 織込んだ

密賣支那人捕はる

二十五日午後四時頃沿岸航海の某汽船より怪しき一人の支那人釜山へ上陸せしが別に手荷物としては無く只目立つものは際立つて大きなる毛織の襟卷を爲し居るのみなりしが稅關吏の檢査に際し毛織の襟卷を檢査したる結果此の襟卷といふは阿片を紙撚の中に卷きて織込めるものなる事を發見したるより警察署に引渡したるが此支那人は吉林省長白縣生れ目下住所不定の揚紹邦（三八）と云ふ者にて同人の白狀したる所によれば此の襟卷は長白縣西省より人蔘と共に咸鏡北道に密輸入し咸鏡北道北青郡新浦より便船にて釜山に上陸したるものなるが該襟卷に

▲織込み たる阿片のみにても時價約千圓を超ゆるものなれば其の他の手段にて他に此の種の密輸入を企つる者ある可き見込にて引續き取調中なり（釜山）

◎河豚の卵 命をとらる

廿六日午後三時頃南米倉町通りに於て二名の鮮人食傷の爲めに苦悶し居たるにより同町派出所巡査は之を本町警務部に屆け出し應急手當を施せしが一名氏名不詳は死亡し他の一名金六福（三〇）は世富蘭病院に收容治療中なるが右兩名は何處よりか河豚の卵を拾ひ來り燒きて食用し中毒したるものなりと

◎今度沈設した海底線は 京城の爲に有難い線

＝京城大阪、東京の專用線で獨占される＝

一線の送信能力は二千通だから……

釜山下關間の海底電線沈設工事竣工し廿六日午前十時より京城大阪間及び東京間の通信を開始したる事は既報の如くなるが右につき服部京城郵便局長は語つて曰く『同日午前中は東京、大阪共に準備が整つて居なかつたので通信は出來なかつた午後から大阪だけは許さ

▽開通した が東京は肝腎の機械が据付てない爲めまだ通信が出來ぬ今度沈設した海底線は吾々の方で東京第二番線と云ふのであるが一線の送信能力は約二千通であるから今後の電報取扱ひは夫だけ敏速になる譯だ現に京城大阪間は從來その日の電報を

▽捌くのに 翌日の午前三時頃迄懸つて居たが第二番線の開通と同時に二時間ばかり速くなり午前一時迄には全部捌いて了つたこれは廿六日半日の成績に過ぎぬけれど畢竟其丈速くなつた理で東方面も開通さへすれば現在よりも非常に速くなる然もこの線は京城大阪及び京城東京の專用線で是以外の局には使用される事がないから電線の故障その他特殊の原因がない限り

▽獨占的に 絕えず通信する事が出來る是はこの線の强味である事が此は從來の京城人士に取つては絕大の同時に京城人士は喜ばねばならぬ、第二番線の開通と共に注意すべき陸上の回線は目下工事中で朝鮮の方は本年末迄に竣工の豫定であるが是が全部竣工すれば一層敏速になる事勿論である』

◎牛乳が八錢 になる

世界風邪の猛烈さに、それがしかも惡性と來て居るので急に衛生家や養生家が殖ゑて來て市內各戶の入口に牛乳函が夥しく見ゑて來たので牛乳の販賣業者はホクホクものであらうと思ふと事實はさうでもなく諸原料の騰貴で此春京龍牛乳販賣業者は値上をして七錢に賣つてゐたが現在では從來の値段では益々原料が騰貴するので何うしても引合はない、當業者は孰れが殖ゑれば殖ゑるだけ損になると云ふ有樣で再び京龍同業者は協議の決果十二月一日から一錢値上げの八錢とする事となつた相である

◇……警察の窓から……◇

宿屋料理屋飲食店營業者雇人及び家族健康診斷 ▲十一月二十八日 南大門四五丁目、御成町、北米倉町以上鳥崎病院 ▲旭町一丁目中島病院 ▲壽町の一部南山町の一部以上高井病院 ▲黃金町四五丁目古城醫院 ▲黃金町一二丁目の一部同三丁目以上宇野病院（以上鮮人側營業者を含む）

▲廣告貼紙 近時電柱板塀其他の場所に濫りに廣告貼紙を爲す者ある殊に例年年末には之が增加する該貼紙は建物所有主の承諾を受けず濫りにする時は警察犯處罰規則違反の制裁を受けねばならぬ

▲水道栓開放 市內水道使用者にして專用栓私設共用栓官設共用栓共に寒氣の爲に凝凍し水が出ないのを氣遣つて前夜から栓を開け放して少量の放水をするものがある故に官設共用栓などは放水の爲めに附近一面鏡のやうに結氷し交通上危險である使用者は此點に充分留意すること

◎記事正誤 二十六日朝刊所載強盜豫審終結決定理由中被告今津りとの所傷は刑法第五十六條は第二百十六條の誤植に付訂正す

◎夫の殺害された 庖丁で仇敵を抉る

＝平南平原『仇討の殺人後報』＝

◇金姓女また慘劇後遂に卒倒す

去る十九日午後三時頃平南平原郡自德面槐田里に於て金姓女外四名が其の夫の仇なる同里盧明佑を殺害したることは當時の紙上にて報道せしところなるが今其後報を聞くに被害者たる盧明佑（三）は同日金奉一（三）の還曆祝ひに招かれ酒宴中金日一方に雇人任玄五（三）が

▲愁心歌 を謠ひたるを祝ひの席上にて斯くの如き不吉の歌を謠ふは宜しからずと云ひたること任は怒らば貴樣が歌へと云ひたるより口論となり互に酩酊し居れるより果ては大立廻りを初め盧明佑は有合ふ庖丁を以て任玄五を殺さんと罵りたるに任は恐れて逃け出したる所怒り狂へる盧は折柄居合したる前記金姓女の夫金基一を任玄五と間違へ矢庭に金基一に重傷を負はし

▲即死せ しめたるまゝ自宅に逃け歸りたるものにて斯くと聞き傳へたる金基一の妻金姓女は近所に居住せる金日一（三）金處一（三）雅真市（三）鄭川玕（三）の四名を語らひ盧明佑方に押し寄せ有無を云はさず同人を縛し上げ自宅に連れ戾るや寢室の一室に監禁し兩手及び兩足を荒繩にて縛し次ぎ金姓女は夫の仇敵なりとて金基一を殺害したる庖丁を以て

▲腹部を 深く抉り遂に內臟露出し人事不省に陷らしめ其まゝ引上げたるが二十日午後四時に至り遂に盧明佑は死亡したり急を聞きたる順安駐在所にては直ちに巡査出張し金姓女外四名を逮捕し目下同署に於て取調中なるが金姓女は夫の殺害せられたることを盧明佑を殺害し內臟の露出したるを見て歸宅後卒倒し一時人事不省に陷りし由

演藝案內

本町二丁目 電話一〇五〇 壽館 ◎十一月二十七日より [illegible]

活動寫眞常設館 有樂館 [illegible] 署長と火消 全二卷 [illegible] 耕す乙女 [illegible]

黃金館 電話（晝間）二二六六 （夜間）二六三七 舊劇 お園六三 全二卷 [illegible] 第五 大秘密 [illegible] 大正劇 女鹽原 全四卷 [illegible]

大正館 電話八七三 [illegible] 滑稽活劇 家庭敎師 全二卷 活劇 護神 全三卷 舊劇 朝顏日記 全三卷 新派悲劇 父の淚 全五卷 [illegible]

鐵道拂下品販賣 冬羅紗洋服、外套 毛皮胴着並防寒具 軍隊拂下品一式 特品コート長トンビ大小萬套大羽織人 和洋古中衣服類各種 多少に不拘御用命被下度候 龍山元町二丁目 金子奧市商店 電話長一〇五番 振替口座京城三八一三

花柳病 外科專門 ●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●睾丸病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱ヒステリー 京城南大門通朝鮮銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番 606

秋の風引には 大學病院 撰範方劑 調劑確實有效保證 KAZEPIRIN 解熱 完全 東京 本舖 淺野榮天堂藥局

輸出殘品 見切 玩具直接御賣 セルロイド羅紗ゴム木製人形其他新案品玩物古物一個一錢より 收益二倍以上 四百 大附錄 四圓 [illegible] 東京 貳圓 安田商店 [illegible]

吸入瓦斯 エンヂン 十馬力 [illegible] 高橋鐵工所

天下一品 一日十俵搗 精米麥機 本機は運轉輕快一日十俵精白を [illegible] 大阪市北區上福島 [illegible] 砂川製作所精米機部

鮮滿無比の特約店にて販賣す

最上醬油 朝鮮仁川 高杉醬油釀造場

○兩頭の軍政

シエラウヰン大佐と記者との問答

チタ市には目下軍團長たるセミヨノフ大佐の任命に係るセミヨノフ衛戍司令官(セミヨノフの叔父)の外に全露政府の陸軍大臣全權委員大佐シエラウヰン氏がおつて同一政府の下に兩頭政治の奇現象を呈してゐる、記者は一日シエラウヰン大佐をセレクトホテルに訪ふて彼の意見を叩く記者は大佐に向つて『貴下が後貝加爾保安維持のため爰任して以來、陸軍大臣の支配下にある極東軍團長の任命したる衛戍司令官こが兩立して茲に政令二途に出づる奇觀を呈しつゝあり貴下はセミヨノフこ共に秩序維持に從事するに有りや否やこ問へば大佐は困惑らしき表情にて記者の顔を見詰めつゝありしが暫くして『否、予はセミヨノフ氏が浦鹽より歸還する間だけ留守師團長の格にて秩序維持の任を依頼されたるものなればセミヨノフ氏が歸り次第オムスクに引返す筈なり』

こ一寸的外れの返答をして茶を濁さんこしたるを以て

『セミヨノフ少將の衛戍司令官も貴下の陸軍大臣全權も共に軍政を執行するに在り、セミヨノフ軍團長がセミヨノフ小將に軍政を委ね乍ら、貴下にも同樣の權能を與ふる筈なし』

こ突込めば大佐は益々迷惑らしき顔をして、果てはセミヨノフ對余の關係に就て多くを語るを好まず

こ逃げを張る記者は更に

『極東には軍事上政治上の懸案頗る多し、オムスク政府は極東に對し如何なる方針を有し居るや、貴見如何』

『斯る重大問題に就ては責任ある言明なす能はず、目下陸軍大臣イワノフ氏は浦鹽にあつてセミヨノフ、ホルワットの諸氏及び聯合國代表者こ會合し極東問題に就て重要なる協議をなしつゝあり、會議の結果は極東問題に一新轉機を見るに至る可し』

記者曰く『日本の出兵に對する貴見奈何、日本國民に對し何事か傳ふ可き事ありや』

『余は足下より質問の連發を受けたれ共、余こして到底答ふる能はざる問題のみなり、何れ政府要路に於て此等問題に就て政治方針を發表する機會ある可く又武藤少將を介して政府の意見を日本國に傳ふる機會あらん』

こ徹頭徹尾逃げ廻る、毫も言質を與へざらん事に勉めたり、彼は天長節祝日當日の如き大庭師團長の挨拶に對して御世辭の有りだけを盡したる祝辭を述べたる程の可成表裏ある人物らしく道途傳ふる處に依れば全露政府の意を承けてセミヨノフの行動を監視し、其陰謀を企らみセミヨノフ對米國の關係に注目し居れりこの流言さへ傳はり居れるが併もセミヨノフを恐るゝ事甚だしくセミヨノフも又彼が越權を働く場合は直ちに頸を刎ぬる位の決斷に出づるを以て内心チタ引上げを希望し居れりこ　(チタにて早川盤溪)

○二百廿萬町に亘る　國境の處女林　(三)

把國には迚も見られぬ

◆伐木事業は◆

直營こ立木挪下この二種に區分してある、造林は數年前までは主こして角材こなし、又其の長さも支那式の距離即ち八尺を單位こして來つたけれども、近年は運材や編筏の方法も熟練したり又容板も用當に利用の道が開けて來たので直營の材木は大材木の外通例丸材の儘流下する事こなつた伐木及び造材事業は毎年主こして九月より十一月迄の間に行はる、けれども

◆臨時其他の◆

時期に行はる、事もある。去る明治四十年營林廠開設より一昨大正五年迄の直營伐木造材の統計を見るこ鴨綠江材が百四十六萬四百六十八尺〆其他七十三萬二千二百二十三尺〆合計二百十九萬二千六百九十一尺〆一年平均は二十一萬九千二百六十九尺〆又豆滿江流域の直營材は二十七萬五千二尺〆其他が三萬二千三百六十九尺〆一年平均三萬七百三十七尺こなつて居る

依つて

◆鴨綠豆滿兩江◆

より十年間に伐り出した材木は二百五十萬六十二尺〆で一箇年の平均は二十五萬尺〆餘である之れを過去十年間の成績に考ふるに大正元年には一時緊縮を執つたけれども彌來林野調査の進捗に伴ない漸次增加し來り大正三年度に於ては三十萬尺〆を超ふるの盛況を見た然るに大正四年度には

◆歐洲戰亂の◆

餘波を受けて運轉資金の關係上已むを得ず直營伐木を縮少したのみならず挪下を受けたる民間伐木業者も既ね手控へした爲めに十九萬尺〆に減少したが五年度は之れに反して經濟界の活躍や各地の需要を激增したる上船腹の不足等の關係から内地材就中北海道材の輸出不可能こなつた結果こ銀貨の騰貴の爲め

◆支那材輸入◆

困難こなつた直接關係上營林廠の伐木數量は俄然こして躍增し直營約三十萬尺〆挪下げ其他にて十五萬尺〆等を見るに到つた又一方豆滿江流域に於ては會寧兵營の建築の爲め明治四十年度より同四十二年度に亘る三箇年間に約十六萬尺〆を伐採して來たけれども大正三年度を中止して此の方一時直營伐木を中澤山の燒損木を生じた爲に

◆之を機會とし◆

て咸鏡南北道の需用に應ずる爲に再び伐採事業が開始されたのであつた次は運材及び流筏の事であるが運材の開始は毎年十二月であつて積雪こ結氷こを利用して牛曳、木馬修羅の方法に據り或は輕鐵に依るものであるが場所の都合によつては鐵砲出し管流しの方法を執つて編筏工場に出す事もある

◆五月頃氷が◆

そろ〳〵解けかゝるこ、筏組が行はれて流筏に移る順序であるが流筏の開始は大抵五月であつて其の最盛期は六月より九月に到る河水の增水期である事は言ふ迄もない事である鴨綠江の流筏距離は通例百里乃至百五十里で豆滿江は約六十里である而して流筏の閉止期は通例十月であるが本年の如きは十一月中旬迄も續いて居るらしい

○東清管理權

會社に委せたら好からう　鐵道院技師　大村卓一氏談

今回西伯利行の目的は黑龍江沿線視察の爲めでオムスク迄行く積りである、尤も自分は先達二箇月許り同地方に滯在して居た恰度九月の三日だこ思ふ東清鐵道の同盟罷業の始まつた時居合して十二三日頃鎭定したが同ストライキは何等の根底も無いものだこ思ふ、當時帝國軍隊輸送が之れがために阻害されて長春へ停滯の已むなきに至つたが何も軍隊輸送を阻害する目的じやなかつたので單純な給料問題に過ぎない、要するに聯下の東清鐵道幹部の勢力は頗る薄弱なもので其の爲めに演出されたのであるから帝國の鐵道聯隊及び米國の鐵道隊が幹部の力こなつた爲め鎭定は容易であつた

東清鐵道の將來

に付いては頗る議論も多く帝國の將來に大關係があらう、然し東清鐵道の管理は依然こして露國の下に存續させるが當然であり且つ管理し得るものこ認めて差支ない勿論現在に於ては日本の手に依て援助も指導もして居るが同會社の經濟状態の全般から論じて

收支償ふや否や

は別問題こして將來に於ける東清鐵道は從前の通りこして只米國なり帝國なりで材料の補給人員其他の援助をして運輸交通の向上を圖る事が執る可き自然の理ではなからうか、或は一說に經濟上より見るも總ての狀態より論ずるも世界の交通上受くる打擊が頗る大なるを以て

一歩進んで之を

管理指揮してそれを促進する必要ありこ云ふが自分は其必要を認めない故に結局同會社の存續を是認し全般に渉つて指導且援助して事業を助け而して其の成績を擧げしむる事が當然であらうこ思ふ何れ自分も約二箇月間は滯在の積りであるから相當の研究は出來る積りである(釜山)

○有望なる滿洲の米

陸稻の過半以上なるは水利の爲

地價や小作料が廉いから　稻作經營をして充分に引合ふ

奉天で農事經營者として十年以上の經驗を有して居る勝弘氏を訪ひ米產地としての滿洲は如何こ尋ねて見れば左の如く語つた(奉天)

滿洲こ米の歷史

滿洲で米作の痕跡が今に現存す

滿洲に於ける米作に關する歷史は中々古いもの、樣に思はれる、勿論私は其歷史に立脚して米作を思ひ立つたのでもなければ……また歷史を調査する樣な呑氣な時代に這入つて居ないが……農事經營を始めたのでもないが遼陽から一寸した處……左樣地名は今失念して居るが……へ行くこ所謂清朝に對して上納した米即ち禁田こも云ふべきものの歷史がある、それから考へるこ確かに昔の或る時代には今よりヨリ盛んに米作が行はれて居はしなかつたかこ思はれる

長春以南は何處

然らば滿洲に於ける米作は

土地柄は…こ云ふこ非常に良好で如何なる土地でも米作に適しないこ所はないこ云うて支障はないこ思ふが或は夏の期間が比較的短いのに不審の思をするかも知れないが短ければ短いので成長して行く程度がそれ程速かであるから決して案ずる事はない

却て朝鮮方面の

或所より確に有利有望である

こ思ふ唯此處に困るのは水利の方面である、此水利の方法さへ顧慮する事がなくなつたならば長春以南は何處でも米作には適し且つ多大な收穫を得る事が出來るこ確信してゐるのである、本年の如きは奉天附近に於て十七萬石內外其他滿洲各地に於て

收穫された米が

大約七十萬石に達する豫想な私は持つてゐるのであるが其內で奉天附近が米質は一等良好である而して此の七十萬石は悉く水田から許りかこ云ふこ決して水田から許りではない陸稻が半分以上を占めて居るが漸次水利方法がつき若しくは米作が有利であるこ云ふ感が支那人間に悟られるこ天水を利用しての水田米作が多くなる事こ思ふ是も亦確信して疑はない所である

一反で二石以上

現に奉天附近の水田に於ては一反歩に就いて二石の收穫を得るは決して難事ではない、其れを今日の地價から見ても又小作料等を差引いての純收入から見るも極めて有利なる事業こ云はねばならぬ、即ち一反步の地價平均三十圓こして二石の內一石は小作人にやり殘り一石が地主の收得こなるこするこ一石の價十幾ら安價に見ても二十圓は下らないさすれば

一年半で土地値段

が浮いて來るではないか

ないか、小作の方から見ても決して朝鮮方面に於るが如き肥料を要せないからソックリ其まゝの得こなつて來るのであるが困るのは例の土地商租問題である此問題が早くも片付かなくつては折角發展しかけて來た農事方面も一頓挫を來すの已を得ない事こなりはせぬか又

東拓抔の進出も

此方面にまで手を染める樣

にならねば實際相應あるものこ云ふ事は出來まいこ思ふ、而して滿洲人の米食こ云ふものは極めて近からの事である、彼の日露戰役の即ち三十九年頃では奉天城內の穀物商の店頭を見ても米を販賣してるのは一二軒しか見當らなかつたが、それが今日では何れの店頭にも米が並べてある、米がなければ穀物商こしての價値がないこまで認められてる

それ程支那人の

米食が盛んになつて來た

奉天附近の產米では到底奉天の需要を充たす事は出來ない迄に進んで來てるのである此の米食が盛んになつた理由は我駐屯軍が米を常食こしてゐるのこ一つは張將軍が二十七師を編成した際に結果是れくを米作地方から選んだ結果是れ等が米食をする從つて部下が米食をやる關係から家族でもやる果ては飲食店で米を用意するこ云ふ調子で米の需要が急劇に增加したのである

將來に於ける豫想

滿洲人自身も米食を始めだした

元來人間は贅澤に、馴易いもので居た彼等支那人も一度米食をやつて見るこ其の味が忘られないで自然粟や高粱は止して仕舞ふ故に此の增加率を見たのである將來も是れであるのは疑ひを容れる餘地がない又一面收穫の點から見ても高粱や粟を作つてるの比ではない、故に農民自身も漸次是れに移つて來る樣になつた故に滿洲に於ける米作の將來

水田經營の向後は

非常に有望なものと云はれば

ならぬ是れ獨り內地に於ける米價の調節に資し自給自足の主意に叶ふものではあるまいか其れに就いても商租問題の速かに解決されん事であるこ共に滿洲に於ける水田經營の有利なる事を普く知悉せしめたい事の二つである

是が成功すれば

其の他の必要條件は別に苦心を要しない、若々解決を見るべきこは信じて疑はぬこころである

撫順行(二)

奉天にて　老禿生

◇乘人こ車夫◇

十時半の列車は鐵道側に云はせるこ臨時列車だ相だが近來乘る方の者に云はせるこ定期の樣なものだ、けれども流石は臨時特別のお斷りがしてある程殆んご發車も到着も時間に對する感念、責任は甚だしく缺除してる樣に受け取れたで撫順へ著いた時はハヤ午後の一時こ云ふ減法な時間が乘車中に消されて仕舞つてるには一寸敬意を表したくなつた。元來老禿の撫順へ來たのは始めてだ、そして支那語は珍分漢分一切知らぬで早速停車場の查公にお願ひして行先を知つてるか知つてないかを確めて支那車夫を極めて車上の人こなつた、處が行く事一町二町三町こ停車場を離れるに從つて車夫クンの足取りや腰元がフラ〳〵して來た後から見れば

西に東に右に左に

妙な運動を初めた老禿早速此奴客が欲しさに知りもせぬのに知つたか振りをして乘せたなこ察した、其の內に前の方を二三挺何れも威勢の好い車が通過した、後からはステッキの尖で快々デー……奴さん

盲滅法に一目散に

走り出したのは豪氣だつたが矢張り行先は依然こして判らない、で徐ろに後に向いて哀願的な目で行く處を教へて見れこ、口では何やら盛んに喋り立てるい、デ道行く人に問うて上からアッチだコッチだで漸く目的地に著いた、そして車夫クン諸共

ほつと安堵の息を

吐いたのは珍だつた。それから炭坑見物をやつた、露天掘りも見た夜の露天掘りの方が見事だ相だ、此の頃の採炭高が日々約一千噸使用人夫が一千三百人位そして賃金は最高が六十錢最低が三十錢平均四十五錢位だこの事。大部分は支那人で

朝鮮人も若干ゐる

事は居るけれごも殆んご信用して使用する譯にはいかない夫れは例の怠け性だからだ相だ困つたものこ云はざるを得ない夫はさておき兎に角盛んなものだ周圍の土手の上に立つて見て居れば下の方の

窪だ處は全部石炭

で運炭車が引つ切りなしに上つたり下つたりしてる一方では剝土機が石炭に著くまでの土を剝いで貨車の內に入れてる一杯に機關車が次のを押して來るイヤハヤ —

盛んな事である

それでも雨が來るこ困りだ相だ、其の外東鄕坑大山坑などがあるが是れは只の規模が大きいこ云ふ外露天掘程老禿の興味を惹かない、兎に角に撫順の石炭は盛んなものこ云ふより外はない、此の石炭を中心にして

種々の製造工業が

企劃され進捗されつゝある、彼の大阪亞鉛礦業の分工場電氣化學の分工場製鐵會社鐵工會社等殆んご櫻指に遑がない程である大阪亞鉛工場は昨年來の計畫で工事は大いに進んでゐるが何分にも其の

規模が大きいので

まだ製品を市場に上す迄には至つて居ない今迄の投資額が早一百萬圓を超過してる樣子であるが最近の樣子では大阪亞鉛から分離して獨立した會社こして進むべく其間に計畫が進めつゝあるが資本金は

五百萬圓にすると

の事である、左樣なるこ又一層盛んになる事だらうこ思ふ。だが其の原鑛は目下の處滿鮮から得る見込みは一寸背がない豫定通り

南洋方面から仰ぐ

のだこの事であるが會社こしては出來る事ならば可成吹鐵を滿鮮の地から得たいこ云ふ希望があるので探鑛には相當手を盡してるこ云ふ事だ

○正味斤受渡

◆仁川こ籾の賣買改善◆

一般市場に於る籾の賣買に就ては從來幾多の弊害を遂ぎつゝ包裝のまゝ斤量するの方法を執り來りたるが近時漸く包裝の不正手段を講じ以て斤量の增加を計らんこするもの多きに到り取引上弊害甚だしきものあり爰に仁川穀物協會に於ては之等の弊を除却せんが爲め正味斤受渡の方法を決議せるも未だ幾多の事情に左右せられて之が實行に到らざりしも今回京城穀物商組合こ協議の上京仁兩地に於ては將來籾の賣買には總て正味斤受渡しの方法を執る事に決し仁川は十二月二十日より實施京城にては二十五日より實行の事こなれり元來包裝のまゝ斤量に依る從來の受渡しは奸惡手段によりて其の斤量を增加せんが爲め或ひは口俵を多くし或ひは之等を濡らして斤量增加を計らんこするに如き乘ずべき弊害多く殊に近が時至り農家の此しく一般在鄉軍人は常に精神の鍊こ奉公の誠心を忘れざるは勿論たが斯かる手落のなき樣常に召集規則に通曉する事が肝要であらう(晉州)

○獨墺よりの借款

支那側にては

如何に之れを處理するか奉天省公署要路の人の談に依れば省當局は財政部よりの要電に接し省財政廳は目下大々的繁忙を極めつゝあり要は歐戰終りを告げ獨墺降服したりこ雖も支那は獨墺兩國よりの借款もあり且又宣戰以後に於ては獨墺の交付を停止したるものも和議開始こ共に俄に辨法を規定せざるべからず故に左の事項に關し正確なる返電ありたしこ

(一)交付を停止したる貸借は先づ左の性質を研究し再び之が繼續を復活せしむべき方針

(二)交付を停止したる貸借の停止期間に於ける延期の利息若干

(三)數額くして期間短かき債款は償還期を延期すべく要求し其の應否か確かむる事

(四)各省若し物品を購入せんと契約なし或は戰に依つて未だ貸物を交付せざるもの諸國に向つて賠償或は損失を如何に處分すべきかその應否を決定すべき事

等の各項に亘り具體的に返電ありたしこ云ふにあり而も同問題は議和代表の出發せざる以前に於て之を熟知すべき必要あるを以て三日を限り覆を要すこ(奉天)

○木炭の値段

◆晉州こ指定販賣人◆

木炭の價格昂騰につき佐々木慶南第一部長は記者に語つて曰く『近來木炭價格昂騰せし原因は農季節こ感冒流行の結果生產力を減じ需要激增に依り自然品拂底を來し指定販賣者外の木炭商は値上げを斷行せし故市價は一時に昂騰を見たるものなれごも尤もコハ旬日を出でずして價格の平調に復すべしこいへるは指定販賣人の現在賣價(一圓二十錢)を改正する場合は當廳の許可を要する事こなれるを以てなりこ因に現在晉州の木炭價格は七貫入指定販賣價格一圓二十錢一般商人一圓五十錢なり(晉州)

○軍人會の事業

◆柳行李の原料こ桐の◆

植樹を行ひ將來財源こなす

一般大演習觀戰の途次晉州に立寄りたる兒島警務總長は晉州在鄉軍人會のため苗木代こして金若干を寄贈したるが之により同會の事業こして石橋里に七千五百坪の官有地の貸下を受け本年約千五百坪に杞柳を植付け將來柳行李の原料こして栽培しつゝあり右は井原分會長の計畫にて一時總督府より同氏に貸下げられたるを今春在鄉軍人會に寄附したるものなりこ尙ほ今後の事業こして該地は更に官舍空地に桐苗木を配付栽培して豫て同會の基本財產に供すべき方針なりこ(晉州)

○支那人の萬引

◆是まで十數箇所に於て◆

支那山東省齊州府生れ趙民華(二六)同省萊州府生れ蕭義山(二五)の兩人は共謀して東乘二浦雜貨商小上馬商店にて恰も物品を購ふが如く店員の隙を窺ひ冬帽價格五圓のものを萬引したるを高木次郎が見取押へ駐在所に引渡したるが兩人は從來同一手段を以て十數箇所にて萬引を働きたる事を自白した

○連絡船上陸客

二十六日午前入港新羅丸　一二等客　一等(七名)星野光弘、釜澤飪太郎、佐藤……

左官建築材料

セメント　石灰　硅藻土　火山灰　左官材料一式　各種色土砂　布海苔莇　各種塗料品　左官用、東京鏝　煉瓦用、東京鏝　建築材料種々　各種耐火煉瓦粘土瓦　煉瓦土管瓦　各種莇類製造

九州火山灰合資會社　特約販賣

京城電氣株式會社製　瓦斯コークス　コールタール　特約販賣

平壤小野田セメント株式會社製　石灰特約販賣

京城旭町二丁目　電話九八四番　卸商　戸澤商店

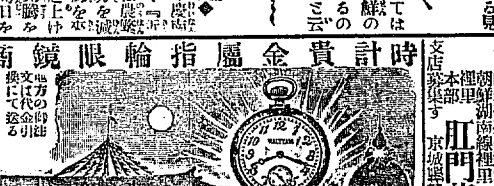
新式耐水調革　新田帶革

朝鮮總代理店　仁川本町四丁目　白神洋行

京城南大門外　白神洋行支店

定價表申込次第送呈

時計貴金屬指輪眼鏡商

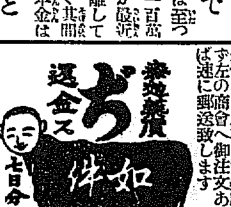


地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目(京城銀行前)　三浦天龍堂　電話一〇〇二番

完全なる專門のみ藥

當商會の發賣する肛門藥は大正五年五月二十四日附にて認可を得たる新製良藥にて「ぢ」毒を掃快する特效藥なり故に如何なる永年の難しく病も自宅にて家業に差支へ無く嬉しく全快すに簡く一日も早く呑んで御全快あらん事を藥店へは販賣せずに左の商會へ御注文あれ遠路なれば速に郵送致します



論より證據呑んで其效顯を味ひ給へ ぢの手術は肺病を來たす恐あり 他の付藥、油藥、下痢藥にあらず 「ぢ」は子孫に遺傳す

本部　朝鮮湖南線裡里　肛門藥商會　京城黃金町五六三番　支店募集す

社交界の花形紳士は……皆

日本に初めて出來た　美乳　愛用家！

人間生れて好男子こなる勿れ、到るところで僕のために美人間に葛藤を生じて困るナンカンこ云はれる程の艶福家ではないが、これでも學生時代の短袴破帽に比べるこ下郎こ殿樣ほごの人間の光の相違が出來た、ソシテその光が單なる社會的地位でなくして僕自身の外形美に發してゐるここは注目を要するこ友人達は騷ぎ立てゝ居るがその友人達に千萬言よりも一の實行、卽ち此の美乳一瓶を用はせたい、美乳は實際目立たぬ白さに男子の皮膚を美しくする不思議の作用がある、社交界の花形紳士は皆これを塗けて居るんだ……

美乳一瓶貳拾五錢……純白美乳一瓶參拾錢

本舖　大學目藥本店　矢野芳香園

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)　電話二六〇〇番・一八〇八番

酒井婦人病院　院長　酒井一郎

株式會社百三十銀行京城支店

資本金壹千萬圓　頭取　安田善三郎　京城本町壹丁目　電話長五八番　京城一九四番　振替貯金京城一一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

內科　胃腸病　診察夜九時迄

京城本町一丁目　石川醫院　電話二三七九・二二〇九番

代理店　京城明治町二丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話長八四九番・二四五四番　振替貯金口座京城七五番

宮內省御用達

千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造

池田季雄

イケダ小兒內科醫院

京城三越吳服店前(入る旭町四丁目電話(病院一三三四番　自宅二〇〇〇番)

商況

東京株式特電

二十七日前場 先限引値

銘柄	値
東株	二一七、〇〇
同新	六九、一〇
東汽新	一八五、四〇
大阪商船	一四二、四〇
同新	[illegible]四、〇〇
富士紡新	二五四、九〇
鐘紡	一〇九、七〇
寶田石油	[illegible]

東京現株中値

二十六日

銘柄	値
朝鮮銀行	一五七、〇〇
同新	七三、五〇
南滿鐵道	一五一、〇〇
第一新株	一一二、五〇
第二新株	七二、〇〇
南滿製糖	一三三、三〇
朝鮮製糖	一二一、〇〇
滿洲製粉	……
鐘淵紡績	二六七、〇〇
同新株	二四六、〇〇
京城電氣	五八、〇〇
朝鮮瓦斯	一三二、〇〇
東株	二四三、〇〇
同新	一二四、〇〇

東京期米特電

二十七日前場 先限寄付 三十六圓〆五錢

大阪三品特電

二十六日前場

限月	値
十一月限	三五九、〇〇
十二月限	……
一月限	……
二月限	……
三月限	……
四月限	三一〇、〇〇

大阪期米特電

二十七日前場 先限寄付 三十五圓三十一錢 二節 四十四錢 三節 四十五錢

兵庫期米特電

二十七日前場 先限寄付 三十五圓六十錢

下關期米特電

二十七日前場

	當限	中限	先限
寄付	……	三七、四〇	三六、五五
高値	……	三七、五五	三六、一七
安値	……	三七、三〇	三六、一七
止め	……	……	三六、七五

雜報

●正米小弛む

昨日は打ち市況の地場正米、不隨なる釜山京城の引弛み報は兎も角さし內地期正米の一變崩れ歩調さなりたるさ仁川市場には稍々週末少ながらさる模樣にて荷主も持米筋買控ひ勞ひ漸く買手の方も折合ひ兼ねる振合ひありて今朝は氣配三四十錢安で取引行はるゝに至りたるが尤も例年の例を以て推すに朝ばさる本年さて今後如何なる變調を來すなし とも限らず季節の關係は現在以上の突飛値は不可能なるもの丶如くは此邊にて寸進尺退の歩調を辿るべく天井さして出來の觀測多く行はれ居れり

●白米更に引締む

前料は少安模樣あるも白米は注文殺りさよげ後れん昨午後より卸つて五十錢方を引締め今日は市中卸一等米の三十八圓へ前日より五十錢方を引上げたり小賣値は共後引續き持合ひ居れるが原料さ其値の模樣如何により手心を加へんと今や總て値上げ希望の趣に見送り居れるが果して如何の成行きさを見るるか

▲肥料の現況 魚肥は前顯後市況イワシ粕百五十五本朝鮮ニシン粕は十二本等の廻着に過ぎざるも既報の如き事情の下に買人の手控へ居る爲め依然見るべき急ぎの注文入り來らず賈人の手控へ居る爲め依然見るべき商內行はれず市況活氣なく然れども何分出廻り多からず目下の物薄の折柄肝腎の米價

●分蜜氣配强硬

商に加はへ產地も依然安からぬ情報にある杯各手持筋は賣惜みの方なり居ら爲め人氣惡しからぬ方なり▲株は其後出廻り皆無にして持筋氣張り居るも別に買進む人現はれざる爲め賣れ行き鈍きにして市況不引立なり

作手の多數が十七圓臺割れを現すべく虚々實々共作戰に腐心し乍ら買氣頗る旺盛なる爲め却々二十圓十七圓十九錢さ前日値より九錢方小高く引けたる分蜜糖保稅先物市況は休日明けの二十二日は十錢さ落ちて寄付き錢さ仙び後十五錢さ落ちこみ二十錢と堅調に引け引後氣配又賣物かさみて相場漸騰し二十六錢買八錢ヤリの人氣なりしが何分買氣旺盛にて賣物殺到する振合なれば賣方の作戰も結局其効なかるべく日曜明けの市況は再び漸進の步を示現せんかさ恐惟せらう

精糖 臺灣赤

精糖は先見越しの惡注文自然殺到し糖續いて底堅し提合は一層强含みの在庫終了せば或は下押さる丶ことあるべきも現在は保合なる懸念せらるゝも丈け賣方の反し撥出せらるゝ丈けは之に備へ漸次強化しつゝあり市場供給不足を告ぐるの有樣なれば市況は底の強硬也

●刷子原毛軟弱

刷子は諸和成立氣構へにてありきの刷子製品の如き海外よりの注文杜絶せるのみならず一般居れる

先安氣構へにて市況軟調

より就中白黑ブタ毛は秋季に於て國より多量に米國へ輸出されしを以て支那の對米輸出は一層軟弱にて一般の姿にて一層軟弱に在りしながら羊毛のみは閑散なる時期の品の大部分出揃ひたれば今後を示し居れりと雖も向明春四月頃迄の供給には十分なる品ある由なれば目先差したる騰は之れなかるべし

●燐寸は强落付

其後輸出の入津引續き捗しからざる上にマラヒン其他の諸材料更に底落の模樣なき爲め頗る角進捗せざるに內地向賣は益々旺盛を示し尚對支米輸出も引續き行はれて市場在荷依然薄なるため市況强固なるも相場は既に騰進が重れて當地相場として安全大箱の十八圓十錢處迄にり今後尚幾段の騰貴あるべき模樣なりしが目下は値ごろ感じ行悩へ次めり

●北海廊市況

進み昨日の接觸などにて漸次急ぎ來れるのみならず日市方面の買進勞た傳へて前來の反移れる市場は大阪定期米の反對し軟定示しつゝあるも漸昇示現する有樣となり賣屋をして益々强化せしめ居るのみならず目先需要薄なるも料さクツ見た樣に停滯し居らざる今日なれば買當筋の自然高値引き付けらるゝも當然と見るべし兎に角各與組筋も前料かく高値呼ばりの事なれば幾分狼狽の氣味なりきにあらずかたがた之等筋の買はるもの何分一二場賣物多がち一段に鮮明ならんか今一兩戰行ざれば需要口は止むなく敏屋筋の唱へに引き付けらるゝが一十一圓五十錢六十錢買進みつゝあり大體の商談は一寸折合はず要するに背頭米高色豆類の活動せる刺戟もあらん又盛廊何分弊腫の商況高步調なるも本品別して買氣なしとあり失れに材料かも手控へて商內漸く出來せず返つて人氣は下押さるゝ有樣にて今日は四等の十四圓など賣れず九圓七八十錢唱へなるが失れとて買屋面白からず九圓五十錢付口あり

下關相場

▲朝鮮米は弛かり 昨又週日來漸次相場の昇進を見るに至りたるより此邊如何あらんと一般戒の姿にあるもの丶如し然るにも其後の出廻り多からぬと產地も續て況を傳へ居るのみならず朝米も矢張强硬なる商情にある杯各米主の氣張り居る爲め相變らず駆かりの成行きを見し居れり

京城正米市場

正米は此數日來高騰を重ねしが漸く前日狀態を安定持合及仁

各地商況

▲大豆は左張强硬 其後深川物四百十三叺の廻著に過ぎざるのみならず目下の見込みは先き尚ほ輸入捗々しからぬとの氣構へ且つ產地も依然安からぬ報にある杯各手持筋は一も意氣込みて新物四百十三叺は十圓五十錢に手合せ行なはれたり

▲小豆は依然强硬 其後別に賣れ行き繁からずと雖も何分產米の影響として產地の益々好況の情報にありて賣惜みて依り相變らず手持筋の氣配强さに依り相變らず

▲朝鮮米の人氣强硬を極めたり

▲同　　　　　四十二圓三十錢

▲朝鮮新一等白米　四十二圓五十錢

▲同當用　　二十三圓八十錢

▲釜山新大豆　廿四圓廿五錢

▲朝鮮大玉小豆　廿四圓五十五錢

▲深川新大豆　廿四圓五十錢

▲同地豆　十九圓十十錢

▲宮川赤大豆　十九圓九十錢

▲元山大豆

○大邱米況 二十六日 當地正米は昨今玄米(保合)の影響を受け未だ値は依然高く相當の利益を見出し居れるのみ容易に手放す向なく移出も減少を見るに至り正米出來値を見るに地米は中以下の品二十六圓より廿錢迄進みありも十六圓ならずして小口相場を追ひつゝ需要口は止むなく相付けに應じて現物三十六圓より廿錢迄進みありて玄米一段落と共に相手び三十六圓さ下押しの傾向もありて前途頑に先約非一手三百個の手合あり跡の發氣仲仲鈍くなるも角高値警戒の念を胎せざるもの丶如し

新神力三等 … 出來 … 値

同十二月三日着 三六、一〇

同 　三五、六〇

新中白小口物 … 三五、三〇

釜山穀物市場 廿六日

▲新米保合 其地元高にて不引合なるも聊か配報の如く特別輸送の關係にて出廻りは更に抄々しきみなれども未だ在庫米も至少な物なく只だ小口庭押ひ品抄々のみなれども未だ在庫米も少々品も乏しからずして出廻りの割合に隨ひ行る折抦さて今朝市場の物は乏しからずして今朝市場の如きも相當は見はれたるも失張上場は品薄模樣にて昨日の品より品揃せるが價額はさ云ふに肝質の買相手たる例の地場の三日の高値物を買込み満腹の小出屋は少口なり當筋さなりしより正貿の利益を圖らうとする柄先をして一商買をする向の勢力は小さくも雖に買はる丶相場で止むを得ざる結果は二三日前の商値物る買込み満腹は止る丶に止むを得ざる筋

(廣告) 糧物 資實 今東內進呈 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長 六一五番 一二〇番

▲古米不實 出廻りは時期が時期の事さて最早一向見るべき物もなきし未だ在庫品がらも少錢存し居る模樣にて昨今は今朝市に質物現れつゝありて今朝市にも相變らず賣物現はれて相當の直段にて實なるもの顯なるは市況軟弱さ云ふ物には至らず當たり相場は只だ小口六十叺程の買進み程度なり

況ならずして此先尚ほ五十五の出來高ありたるも相場は之れるたる外の高値を以て高値は買入る丶もの以上の高値ながら保合の商狀なるが之れがの今朝迄々の出來値は別項所載の如し

仁川正米

今朝 人氣 三四十錢 安

は今朝は安ささの適か買進へ氣味の市川廻著の報多きを傳ふる等人氣十一ぶ

▲玄米二〇九叺最高三十一圓三十錢安値二十九圓二十錢此外中白七十八叺上十二叺中二十九圓五十錢四十一圓十錢下九叺七十五錢八豆四百十八叺十五圓十錢

仁川米豆取引所仲買人

志 仲買店

電話 長二八六 三三番 (カクシ)

收入津多く丸見當正米買方手控にて三四十錢安な唱に神摺玄米三十一圓七八十錢柳カ三等浴格三十四圓見當なり

生魚市場

○京城日丸市場 たい六〇さくら五〇ひらす二三ぶり三三ひらめ二二かれ一〇ますば一三あぢ一八もぢ一〇〇小たべ一六さごし一五かさご二〇い五〇さけ一三三物一五

仁川期米

▲二十七日

(下放跡跳返)

二十錢と四十九圓 丁の下放れに寄付 八

第一節 各地寄來著なるも京の安止にて買氣旺盛當限は中三十一先二十五十錢の出來不中

▲第二節 當中出來不中先二十三錢より買物多く三十錢さ返し二十五錢さ押し五六錢にて〆揚

▲第三節 當中出來不中先三十錢きり引

▲第四節 當川來不中中五十五錢より三十一錢さ跳れ二十錢と押し六十錢さ跳れ大阪三十五圓五十錢東京三十四錢より八錢

仁川米豆取引所仲買人

今村覺次郎

仁川海岸町三丁目 電話 三二〇番 三六八番

五十五錢跳れ返

前場當限出來不中しのまゝ散會

▲中限 〇三十一圓五十錢 〇五十錢〇五十錢

二錢六十錢 五十錢平

▲先限 〇二十九圓五十錢二十錢十五錢

二錢二十錢 十五錢 三十錢 二十七錢 二十錢 十五錢 十四錢 九錢 十錢 八錢 九錢 二十錢 九錢 二十錢 一錢 二錢 一錢 二錢 二錢 十錢 三錢 十五錢 七錢 八錢 十三錢 二十錢 九錢 五錢 八錢 三錢 七錢 六錢 五錢 六錢 五錢 二錢 五錢 六錢 十錢 二錢 四錢 三十七錢 三十三錢 五錢 三十二錢 四十錢 九錢 五十錢 三十二錢 四錢 五錢 五十四錢 三十錢 二十九錢 五錢 五十錢 四十錢 五十錢 七錢 九錢 五十錢 七錢 二十九錢 十錢 四十錢 三十錢 十錢

仁川米豆取引所仲買人

仲買店

仁川海岸町三丁目 電話長 四九〇五番 八三

市場雜觀

昨後場大阪前寄當二十六圓五十一節中三十七四丁度先三十五圓十九圓二節六十二錢先三十五圓八十錢五十五錢下の關三十六圓京一節中二十七四四十一錢先三十六圓十六圓五十五錢下の關三十六圓〇九錢の入電にて當地當中出來先二十九圓七十五錢と七錢

如何に依りて正米の成行き意外

後らが今又大引下破派は期近の割安なる大引ロに於て大激戰は行はれたる根據とし時は三十一圓五十錢より四十錢迄ひ五十五錢と強硬 打止め中

大相場 賣買共に警戒すべし なるらんも知れず

仁川米豆取引所 廿七日の一月限

	寄付	高値	安値	前日との比較
第一節	二十九圓二十八錢	二十九圓二十錢		六〇安
第二節	二十九圓五十錢	二十九圓二十七錢		五〇安
第三節	二十九圓三十五錢			五七安
第四節	二十九圓四十七錢			六六安

出來高 二三九、八〇 三〇、二〇 二九、七五

二十六日後場 均値 ……

白米標準値

三十七圓五十錢

大阪だより

綿糸布業者協議

綿糸布先約取引整理の訴訟を提起して綿業會を紛糾せしめたる大五商店對濟二一郎の間に於ける係爭事件は其後二審共有効の判決を受けたるを以て原告濟海二一郞より上告中なりしが去る二十二日に至り大審院より原判決を破棄し再審理すべき旨が再審究の結果當事者は直ちに斯界の消長に關する處大なるべきを以て多年の慣習を認め居れる一般當業者は二十三日會合し綿糸布同業組合から毛戸博士を招して更に研究を重ねる事となりそれ之に合せ頗る奔走中なりき

毛谷村六助 廿六番角力

七十三席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

作事方は才八の腕前を見て驚いて居りましたが〇『澤村さん、お前さんの力は大したものでございます』才『それなれば何うぞ仕事にかゝつて下さい』と、愁うして下されば俺等も快い心地でございます』才『それなれば皆の者には少しも手を止めさせず、直に仕事にかゝらせて置きまして己はその足で普請奉行の齋藤織部の許へ參りまして才『泡に手前儀は申譯なき事をいたしました、實は只今御家老安番樣さ番頭の中西樣を私の一命は無いこものでございます、その儀は素より覺悟いたして居りますから、何うぞ御法通りお取扱ひを願ひます』突然のことで織部は何のことだか譯が判りません『から織『何うした譯だ』才『實は斯々斯樣々の譯でございます』と番頭のお二人を濠の中へ投り込んだそれは容易ならぬここだ、何うも此儘では濟むまい、此の事を殿へ申上げねばならぬ先づ御沙汰のある迄神妙に致して居り早速殿の御前へ罷り出まして此の事を申し上げんこいふ

織部は『委細畏まり奉る』と早速お目通りを退りまして書請小屋へ戻つて參りました、其の內に足輕共が大勢來つて漸う濠の中より安藤と中西の兩人を助け上げました、兩人は才八を手討にいたすと怒りますを漸く和めまして二人は殿へ逸り屆けましたが、才八は詰所に泰然と控へて居ります處へ齋藤織部は御殿より退つて參して『如何に才八、唯今御主君のお召しであるから拙者と同道いたせ』織部『才八は覺悟をいたして居ります、輕く行つてお手討、重ければ御所刑になるこ心得、少しも恐る丶樣子なく齋藤の背後に從いて御前へ罷り出ました、是まで一度も出たことのない足輕が早速殿の御前へ罷り出ました、是れを申上げんこいふ

くも天晴なる腕前である、織部を呼べ』と仰せられました其内に御用部屋へ御出になりましたが程なくお召しに依て普請奉行齋藤織部は御前の出來事予は殘らず聞いた』殿『今日の大手通りへ出でました二名の者どもは番頭の中西の樣に心得たが彼等は甚だ不都合である、然るに其の兩名を濠の中へ投げ込んだる足輕の者は定めし其方組下であらう、姓名は何と申する』者『私の許まで訴へ出まして何分の御處分の程を願つて居ります、彼は足輕小頭を勤めまする澤村才八と申する者にございます』殿『仮令へ足輕でも苦しうない、今斯くる世に當つて城普請を急ぐ折柄、其の普請を妨げ居つたる彼等の亂暴を怒つていたしたることであらう、依つて早速其の才八とやらに目通りを申付ける』と有難き仰せに

殿へ通りまして、遙に下つて平伏をいたしました、殿は御機嫌麗しく『彼才八とやら、苦しうない、そつと進め、近う』チョッと鄭寧な言葉でございました、才八は恐る丶『此處へ進め』恐る丶前へ進み出ました殿『如何に才八

才八を申せ才『ハッ、泡に恐れ入り細を申せ』殿『イヤ答め、濠の中へ投げ込みしぞ、仔細を申せ』才『ハッ、泡に恐れ入り奉ります、然らばお係り樣まで申し上げ奉ります』殿『イヤ、苦しうない、直答を許すぞ』才『ハッ、恐れ入ったる次第でございまする、然らば申上げまする』是より澤村才八が如何なる答を爲すか一寸休息いたして次席に申上げます。

牛乳

御用 新鮮滋養純良 病院ホテル 岡野牧場 京城東四軒町 電話 一〇六九番

入院隨意 (診察夜九時迄)

皮膚科 徽毒科

皮膚病 徽毒 淋病 膀胱 生殖器 機能障碍

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目 佐藤醫院 (電話一七一三番)

○安東縣近事

▲古藤署長歸期 安東警察署長古藤安吉氏は過般旅順へ出張中なるが本月末日頃歸任する箸なりと

▲感冒は依然也 一時猖獗を極めたる安東地方の惡性感冒は稍減退したるかの觀あるも今尚全然終熄を見るに到らず昨今の感冒は一般に性質險惡にして甚だ寒心すべきもの多しと云ふ

▲銀行業者協議 在安東銀行業者は二十五日午後二時より安東居留民團役所樓上に會し金融上の重大事件に付協議したりと

▲痲疹流行猶盛 惡性感冒に次ぎて

銀價稍擡頭す

一時對金相場二百三十圓臺を突破したる安東の相場は半和來其の他の關係上暴落して一時百七十圓臺となり二十五日には二百圓を突破したり

痲疹の流行亦た見る所あり谷が庭には十二分の注意を要すべし

十一月廿九日(金) 舊十月廿六日 暗くらしさら 庚申 東北 ▲八白 ▲仏滅 ▲大安 ▲天恩

▲八白▼ 理窟に合はねことあるも知れず思はぬことに出會ふこともあらう起業、轉居、婚姻、會合等よき日なり▲一白▼ 少し困ることに遇ふやも知れされど吉事は吉▲九紫▼ 都合のよき日なり▲二黑▼ 物ごとを引受くべからず諸事は吉▲三碧▼ 翌日がよきなれば急ぐべて可なりる日なり▲四綠▼ どうかすると氣のクサく日なり然れども翌日は吉▲五黃▼ やゝもすれば勝負に迷ふことある日なり、されど自ら正しくすべし▲六白▼ 腑に落ちぬこと(?)あり然れども諸事を行ふに妨げなき日なり▲七赤▼ 照れしき日なり吉なら事なし▲起業、轉居、會合等よき日なり

十二月の衛生

(ミツワ文庫七ノ一)

頭痛。感冒。痰咳。胃病

頭痛の種々——頭痛や不眠に惱まされる神經衰弱氣候の變るこき多い感冒——咳こ痰の出る氣管枝炎——此頃から始まる喘息——油斷のならぬ肺結核——最も多い胃病——上戸にも下戸にも來る胃酸過多

▲頭痛

頭痛の原因は腦病、精神の過勞、不眠、貧血、神經衰弱、酒毒の濫用、便秘、胃腸病、眼鼻の病氣等種々であるから、其の痛みも輕度のものまである、而して其の痛む頭部が壓されるやうで重い位の程度から、割れるやうに感ずる劇しい所は時には前額、時には後方、時には頭部全體に及び、往々惡心や嘔吐を催し顏色は或は紅くなり或は蒼褪め、頭部を動かしたり、毛に觸れたり、考へ事をしたり、何か仕事をしたりするこ、痛みが劇しくなる。

之を治すには、原因を除くことに努め、神經を安靜にし、便通を良くし、藥劑としては處方箋の劇しい痛を一時抑へるには、ミツワ解熱錠を服むに限る、ミツワ鎭靜錠は効力偉大なる新しい良薬で、藥劑を持藥にしたもので、頭痛や不眠の如き神經衰弱の症の聲が有効である。

▲神經衰弱

物の哀れを感ずる今日此頃、神經衰弱の人は一層悲觀煩悶に陷り、病氣が惡くなる事が多いが、此の病の主な原因は、精神の過勞であつて、頭が重く或は痛み、眩暈を催し、物事を判斷することが出來なくなり、記憶が不良になり、本を讀んでも其の意味が解らず、計算も出來ず、心緒が紊れ感情は變り易く、睡眠も妨げられ、何事にも疑ひ深くなり、心悸が亢ぶつたり、食慾も減り、胸苦しくなつたりして、遺精や陰痿などの生殖器障碍が起つて來る。

之を治すには、成るべく都落に樂觀的になるやう心懸け、精神の過勞を避け、適宜の運動を爲し、冷水摩擦を行ひ、時々旅行を試みて氣分の變るやうにし、ミツワ人參錠を持藥として服むに限る、殊に頭痛の劇しいこき不眠の續くこきにはミツワ鎭靜錠を用ふるに限る

▲感冒(風邪)

温から冷又冷から溫こ氣候の變るこきには、感冒に罹り易い、之に襲はれると、頭が重く或は痛み、惡寒がして熱が出て、身體が倦怠く、鼻汁が盛んに出たり、咽頭が痛んだりする、一體感冒其のものは輕い病で、危險ではないが、種々の病を惹起す原因こなるから、感冒位こ侮らずに、早く十分の手當をして、風を引いから、ミツワ解熱錠を服みなどして、風を引き易い人ではこれ十分の用心が必要。

▲氣管枝炎(痰咳)

氣管枝炎は感冒から起ることが最も多く、之に罹ると、咳こ痰とが出て、胸骨の後部に何か引つかかつたやうな又痒いやうな感覺がして、熱は出ることもあり出ないこともある、而して咳が劇しいこ胸が痛み、聲が嗄れて出なくなること もある、痰は初めは粘つた粘液痰であるが、後には膿の樣な痰が出る、小兒や老人又は虛弱の人では早く治さないと、肺炎を起すことがある。

之に罹つたら、ミツワ鎭咳錠を服み、痰の出るこきにはミツワ袪痰錠を用ふるに限る、ミツワ鎭咳錠はミツワ合嗽錠で含嗽するに限る。

▲喘息

喘息は發作的に時をきつて、呼吸が苦しくなるもので、小さな氣管枝が一時狹められて起るのであるが、其の原因は未だ明かでない、多くは突然起つて來て、殊に深更に二三時頃に胸の內が苦しくなり、呼吸が促つて、目が醒める、そして胸部が狹くなつて押へられやうになるので、或は衣物を脫ぎ、或は端坐して、成るべく呼吸し易いこ努る。此の際皮膚は蒼褪め、頸部の靜脈は太く張り、冷汗が流れる、それが二三分から一二時間も續いて、次第に樂になるこ共に、咳嗽が出て、灰色の粘つた痰を少量喀出すのである。

之を治すには、成るべく刺戟の無い消化し易い飲食物を攝り、藥劑としては內容明示のミツワ鎭咳錠を服むに限る、此藥は喘息や百日咳、氣管枝炎や肺結核等の咳嗽を止め、病を輕快せさる無比の卓効薬である。

▲肺結核(肺病、肺癆)

風を引易いこか、一寸喀血したこか、神經衰弱の樣だこか云つて居る內に、肺結核の症狀が現はれて、咳が出る、痰が出る、熱が出る、血を喀く、身體が倦怠い、衰弱する、油斷するこ忽ち斃れるこいふやうなことがある。

肺結核に罹つたならば、肺を良くし、身體を强くするのが肝心で、それには新鮮な空氣を吸ひ、日光に浴し、滋養に富む食物を攝り、ミツワ袪痰錠を服むに限る、本藥は結核菌を殺し食慾を增し、身體を强くし、藥こして偉効ある炭酸グアヤコール製劑、ミツワ肝油ドロップスを攝り、ミツワ人參葡萄酒や複方肝油ドロップスを加へたもので肺結核から來る病に大効がある

▲胃病

胃病にも種々あるが、最も多いのは慢性胃加答兒である、食後の不攝生、齒の不良、酒や煙草の濫用等から起り、胃部が脹るやうな苦しい感じがして、時には痛みがあつて、吐逆、曖氣、惡心等を催したり、舌に灰色や褐色の苔がつき、口が粘つて不快な臭氣を放ち、便通は不正こなつて多くは秘結し、遂に食慾が不良になり、貧血して倦怠く

之を治すには、原因こなる惡い習慣を除き、適宜の運動を行ひ、ミツワ胃腸錠を服み、殊に消化の良くない場合にはミツワ消化錠を用ふるに限る、前者は炎症を去り食慾を進める良藥で、後者は總べて食物を消化吸收させるこいふ効驗を有つて居る。

▲胃酸過多(むねやけ)

胃酸過多の原因は色々あるが、酒や甘い物、菓子の甘い物、漬物、餅、芋の如きものを攝るこ、之を起し易い、通例食後一二時間を經て、胃から食道へかけて灼けるやうに感じ、時には少し痛み、曖氣が出たりして、大便は大抵秘結する。

之を治すには、植物性の食物を節し、動物性の食物を選び、胃を刺戟する物、例へば酸い物、辛い物、酒、上等の茶、珈琲、香料等を攝らず、ミツワ制酸錠を服むに限る、此藥は胃中の酸を中和し、惡心や嘔吐を抑へ、炎症を去り、腐敗を防ぎ、食慾を進め、胃を健かにするもので上戸にも下戸にも缺くべからざる良薬である。

ミツワ解熱錠廿五錠…百錠七十錢、三百錠二圓。ミツワ鎭靜錠百錠一圓廿錢。ミツワ人參錠百錠一圓廿錢。ミツワ含嗽錠五十錠五十錢、五百錠二圓。ミツワ袪痰錠十五錠… 百錠一圓五十錢。ミツワ鎭咳錠百錠四十錢。ミツワ結核錠廿錠… 百錠二圓五十錢。ミツワ肝油ドロップス一瓶… 複方肝油ドロップス 一瓶一圓四十錢。ミツワ人參葡萄酒 一壜一圓八十錢。ミツワ胃腸錠廿錠十錢、百錠廿錢、三百錠五十錢。ミツワ消化錠廿錠十五錢、百錠… 五十錢。ミツワ制酸錠十錠… 百五十錠一圓三十錢。

內地以外は關稅運賃を加ふ。

發賣元 東京市日本橋區橘町 丸見屋商店

品目錄市越み次第送呈。發賣元 東京市日本橋區橘町 丸見屋商店

◎日本郵船出帆

大連、天津行 砂丸 十一月廿六日正午出帆

大連、秦皇島行 酒田丸 十二月七日

横濱行 丸 十一月十五日正午出帆

仁川海岸町 二丁目 郵船 取扱店 酒部

△都合ニ依リ早發スルコアルベシ

大阪商船出帆

仁川出帆

大阪行 安東丸 十一月三十日正午出

木浦、大阪行 信濃川丸 十二月一日正午出

(元山出帆)

上海、北陸打拘行 湖北丸 十一月四日前六時出

(大連出帆)

北米行 每月一回

南米行 每四月一回

濠洲行 年一回

歐洲行 南洋行 每月一回

內地各港出帆主要航路

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 清津、城津、元山、經由 平安丸 十二月三日 淸津發

▲浦汐行 元山、城津經由 平壤丸 十二月十日 元山發

▲雄基行 元山、城津、各港經由×印 十二月十一日 釜山發

×山陽丸 十二月二日 釜山發

雄基丸 十一月廿七日 釜山發 十二月五日 元山發

▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基行 穩城丸 十二月一日 元山發

▲大阪行 門司、神戸經由 平壤丸 十一月廿七日 釜山發

▲關門行 城津、淸津、元山、各港經由 十一月廿九日 元山發

×京畿丸 十一月 釜山發

成鏡丸 十二月四日 元山發

▲金剛山遊覽便 元山發長箭着 (十一月…)

▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 孟德丸 十二月三日 釜山發

▲釜山浦項線 毎月 一回出帆

▲濟州島行 木浦發 … 濟州島 十二月二日 釜山發

▲濟州島行 木浦、西歸ノ浦經由 昌平丸 十二月二日 木浦發

東廻 慶興丸 十二月六日 木浦發 / 西廻 公州丸 十一月廿九日

▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 毎日一回出帆

▲木浦麗水線 順天丸 十一月廿八日 木浦發

▲多島海行 木浦發多島海各港經由 興丸 十二月二日 木浦發

▲木浦江景線 江田丸 十二月二日 仁川發

▲海州行 仁川發江華島海州相互ヨリ毎日一回出帆

▲鎭南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 十二月三日 仁川發

▲大連、青島行 仁川發芝罘經由 江原丸 十二月七日 仁川發

京城南大門通 電話長 一九五二

釜山 元山 仁川 木浦 群山 支店 出張所

其他各寄港地ニ荷客取扱店

京城日報

第五版

…官スコパドスキーは降伏しデミキン將軍は協商國側の贊同を得て執…つゝありしが今回…前の小…ふべし而してドン地方の新過激派…せらるゝに至るべきは疑ひなかるべし…政府の將來に於ける發展は目下注目を要す…

定價 不許… 一箇月 五十錢… 廣告料 …
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話 …

京城日報

東京京城二番線全通

通信機關は一般社會の血脈こも云ひ得べく、その便否遲鈍の結果が公衆に及ぼす利害に至つては想像の外にあり、然るに非常なる國勢の進運、殊に時局の影響を受けて財界著しく膨脹し、各種取引の繁忙は、電信電話の激增を激增せしめたるに、一方その設備は之れに伴はず、加ふるに通信從事員中の轉職を招きて、他に職を求むる者相踵ぐの狀を呈せしより、電信の遲延、長距離電話の澁滯はその極に達し、通信機關は殆ど抑塞せらるにあらざるかを疑はしむるに至れり、此の傾向は內地に於て著しく、ために朝鮮郵便局所相互間の電信電話は必ずしも非常の不都合なきに拘はらず、內地朝鮮間通信の遲延誤謬は言語に絶するものあり乃ち在東京總督府の官報不達に歸せし如き、大阪京城間の電信に三日を要し、同時に發したる書信は電報に先立つ一日前にその用を辨じたる如き、敢て珍らしからざる例ミ云ひ得る也

內閣更迭後、政府は通信現業員に對し、月額四十萬圓の勤勉獎勵金を附與するの制を立て、更に極力人員の養成補充に努力しつゝあるを以て、此の方面に於ける能力の增進は著しきものあれど、然も一回線の電線が遞受し得る電報の通數には自から限度あり、無限に激增し行く電報數を既設線に消化し得ざる事は自明の理なり是に於てか事業員の能率を高むるこ共に回線增加の必要を來す、殊に東京京城間直通電信線の如き、結局は如上の缺陷を補はんこするより出で來りたるなり

唯東京京城間の新電線は、戰後に於ける內地ミ鮮滿間に於ける電報の激增に對應せんこする外、特種の理由の存するあり、蓋し今夏西伯利に皇軍を動かしてより、出兵に基づく軍事上の通信は東京こ浦鹽並に西伯利間に於て著しく增進し、又その電報は性質上速達を要す、然るにその經由線たる東京京城線は僅に一線にして軍事電信を除くも、その普通數は頗る多數に上り、長文殊に速達を必要こする時局電報の割込む餘裕なき位なり、是に於てか國家的必要の見地より遞信省は四十餘萬圓の臨時事件費を支出して東京釜山間の新線を敷設し、朝鮮總督府は豫備費七萬圓を開いて京城釜山間新線の架設を施行する事こなり、頃くも十一月二十六日を以てその全通を見るに至れり、是れ電報の通數よりすれば、東京京城間に比し、內地に於ては尙ほ必要の區間少からざるにも拘らず、特に新線の工事を急ぎたる所以なるべし

その敷設理由の探索は姑く措き、東京京城間に大阪をつなげる東京京城線一回線の增加は鮮滿在住者——滿洲は大石橋以北——こ大阪に於ける貿易電報能力の五割增加を意味するものにして、電信の遲速は內地勵金の附こ相俟つて今後面目を革むべし、吾人は此意味に於て新電線の完成を祝す(西濱)

獨逸の現狀
各種黨派の勃興

獨逸諸新聞の報ずる所に據れば獨逸の政情は大略左の如く察せらる

國民代表者會議及び各地勞兵會內の一派たる社會黨少數派代表者は自黨永遠の利益こ內外の洶ボルセビーキの大勢力に鑑み速かに

▲國民會議を召集し自由黨こ聯絡して國內の保守的反動勢力を絶滅し國民の大多數を以て政體を確立し鞏固なる政府を組織して戰爭の諸經營を行ひ有利なる平和條約を締結せんこし各地の勞兵會を漸次此の主張に同意せしめんこ盡力しつゝあるもリープクネヒト、スパルタカス團は極力之に反對し居れば今後の形勢はハーゼ一派の態度に依りて左右せらるゝ所尠からざる可し現に事實上の主權者たる勞兵會の執行委員會は去る十九日國民會議召集に反對し中央勞兵會を組織せんこ決議し最後の決定に就き目下伯林勞兵會に交渉中なり伯林フランクフルト、バヴリヤ其他の自由左黨は國民自由黨は此事態に適應する爲め民主的憲法私公財産を是認する國家社會主義的經濟財政の政策を發表し中產知識階級民黨を網羅せんこしつゝあるが右二黨幹部は國民會議員選擧に際し聯合して

▲社會黨に當る事を決議せり中央黨議員は勞兵會の權力を認め國民會議の速開を主張するも憲法、經濟問題に就き態度を明かにせず形勢觀望中なるがバヴリヤに於ては同黨派議員の一部は宗教の自由、郡會財產公債維持、國民投票制採用等を綱領こしてバイエルン國民黨を起しユルツベルグル一派より分離せんこしたるも同派選擧民の多數が之に加はるや不明なり獨逸保守黨自由黨は合同し大企業家等も新に經濟問題を根據こする一黨派を組織すべし

工國々勢大要(下)
帝國の新締結國

△輸出重要物產　カ、オタク(即ち植物象牙)パナマ帽子、護謨、珈琲、獸皮等を以て輸出重要品こし兼ねて造幣物に宛つ、カ、オ等は同國最重要產物にして產地はロスリアス及び沿岸附近の諸地方こす一九一六年の輸出額は九四、〇六三、六三九封度、其の價格二、五五四、六〇八磅也同國內の栽培地は英國會社之を讓り受けたり珈琲の一九一六年の輸出額は一二一、九一九封度、二二六、三三三磅護謨栽培地はハラザー及びテングル地方にして一九一六年の輸出額は八三七、四五四磅なりき護謨輸出額は大に盛ならんとするも出間の樹木は早く盡きんこす其他タグソ(植物象牙)煙草、砂糖等も出なり同國は金を生ずるも斯業に從事する諸會社の成功せるものなく又石油を產しサンタエレナの油田は英國會社に屬し其他銅、鉄、錫、石炭、硫黃の產出額も少しとせずパナマ帽子は殆ご至る所に產出せられ其中心地はモンヂリンストジビジャパ及びカリカにして同國政府は斯業を同國人民の獨占業たらしめんと欲しパナマ、リイラは苛重の輸出税を賦課したるも尙多量の原料爲密に輸出せらる

△最近貿易統計(甲)一九一六(〇)輸出重要品△カヽオ二、九五四、六〇八磅△タグア植物象牙三三五四八、五八△パナマ帽七一、七一六△珈琲二二六、二二三△皮革九九、九五〇△護謨六五、五八七(乙)同年重要輸入品△織物類四五四、一八四磅△食料品一六一、三八五△金物類一二六、〇二九△布帛類一一〇、一四七(丙)年間の輸出國中主なるもの△米國一、二一〇一七〇二磅△英國四九一、五二二△獨逸△與國一二五六△佛國七七、七八五

△海陸交通機關(一)航路通　同國の外國貿易は全然外國汽船により行はれ一九一六年グアヤキール港に入港せる船舶は百七十五艘二十九萬五千四十噸內(英國汽船十四萬四百五噸)にしてマゼラン海峽を迂回する歐洲行汽船會社の所屬船及び太平洋沿岸行汽船の入港するあり(二)鐵道　一九一七年度に於ける同國鐵道は全長三百六十五哩にして其内幹線はグアヤキートルの對岸デュランより首府キートに至る二百八十哩なりこす(阿米利加會社の經營)(三)道路水路　唯一の公道はキトウよりガイヤキールに至る百十五哩間にして通常の道路は多く馬を通ぜ…

◇江畔　古賀袑雄筆

物價と通貨
英國に於る事實

△英國　並に各國に於ける通貨の大膨脹は物價暴騰の結果にして決して其の原因に非ずと云ふ大膽なる前提の下に倫敦株式取引所『ガゼット』の論ぜる大要を茲に紹介すべし證明の事實は便宜上單に英國一國に限られたり

△統計　に徵するに大戰勃發一箇月前社換劵流通高は二千八百萬磅に過ぎざりしに反し(此の數字は讀者の耳には或は過少に聞ゆるならんも金貨の流通せざる全部國の事實に基づきて他を類推すべからず)本年六月末には二億七千六百萬磅に上り僅四箇年間に約十倍したり尤も此の期間に約七千萬磅の金貨が全く流通場裡より影を沒したり一九一五年六月こ本年六月こを比較するに兌換劵は一億磅即ち約二百五十パーセントを增加したり斯の如き通貨の激增は英國の歷史有りて以來未だ曾て見ざる一大奇蹟なり翻りて物價を見るに右こ同期間內にエコノミストの物價指數は八十七パーセントを增加せり

△物價　の騰貴率右の如く大なりこ雖も之を通貨の膨脹に比ぶれば其の割合極めて低し一九一七年七月より本年六月に至る一箇年間に兌換劵は五十パーセントの膨脹なるに物價は八パーセントの騰貴を見たるのみ尤も此の一箇年間政府は物價の調節に百方努力したれども其の効果に至りては極めて疑問にして物價は前年こ同樣急激に騰貴したり然らば物價騰貴の原因は何れにありや是れ戰時狀態より惹起したる物資缺乏の產物にして通貨の膨脹は物價騰貴の結果にして其の原因に非ざる所以を論證するに精細なる理論的說明を施すの必要なし簡單に事實を敍述するを以て足れり

△工業　によりては軍需品製造に努力を奪はれて餘儀なく生產の縮小したるものあり又職工不足の爲め原料の缺乏に惱みしもの少からず食料品に至りては主要生產國の供給力豐なりこ雖も船腹缺乏の爲めに之を急に要する需要地に達致するを得ず濠洲及び南米の多大なる供給力を利用するに充分なる船腹無かりし爲英國民は肉類の暴騰に苦しみたり生產者、分配者、卸商も小賣商も——皆夫々物資の缺乏に伴なひて減少したる賣上高より相應の利潤を維持し行く爲には勢ひ收益の割合を大ならしめざるを得ず其の結果皆等しく物價を高からしめたり稍や遲れの嫌ひありしこは云へ政府は調節に盡力したるが若し政府の施設無かりしならば國民の疾苦は更に大なりしは疑ひを容れず

△事情　右に述べたるが如し今通貨の一部が流通より引き去りても此の物價を抑へ得べしこは魔術の如きものにして何人も眞面目に之れを信ずる者無からん

史と傳說(五)
宮中な靈正小說家

自作小說の發表の機なきを苦心して居た、夜來澤は、幸ひ大科に登つた、併し乍ら萬一此の小說が他人の手に渡ると何う云ふ事になるか知れぬ賀に命がけの仕事であるから相變らず表面は姉宮樂に使ひて機の到るを俟つて居た、處が幸ひにも彼の才學は重く好宮間に用ひられて何時しか其權勢は熾になり最も閥や權勢の連中に中傷する迄に神經を付けた、從つて靈宗の澤を嫉視する樣になつた、中處彼は陰に彼等の毀計を妨げ陽には之を助くるこ云ふ手段を取つたが、依然こして好官の地位を變へぬ、石の夜澤も徐々宮中の諸勢の嫌ひには陥つたが、君遂に倖つて居ると、日を內し、靈宗が『お前は近頃何う云ふ書籍を愛讀するか』と聞ふたので、『私は此頃一小說を愛讀して居りますが、其文章と云ひ趣意と云ひ頗る結構で、日夜讀んで厭くこ云ふ事は御座りません、洵に近來に珍らしい面白い書籍であります』と答へた、之を聞いた靈宗は耳を傾けて居たが、其れは面白からう何うか見せて貰ひたいとの事、茲に於て夜澤は竊に躍る心を靜めて、さらば早速獻上仕まつりませうと差し出したのが即ち有名な『謝氏南征記』である。

『謝氏南征記』は斯の如く夜澤の與心と、才智と、名筆で出來て居るから編中文章の曲折、美辭佳句を盡して居て朝鮮小說中に傑出して居る事は何人も爭ふ處ではあるまい。之れは『謝氏南征記』の出來た迄の由來であるが、扨て其結果は何うなつたか、之れが又た異の小說的だから面白い。今其の結果を語る前に、此の大使に付て鳥渡記して置かう、何こなれば此の小說の一讀が靈宗の行爲こ當代の時世を遺憾なく表盡してあるからである

新年詞壇募集

漢詩『歲朝晴雪』(五言律或ハ五言排律)『新年雜興』(七言絕句)

短歌『日晴雪』一人三首以內

俳句『初東風』一人三句以內

(注意)締切十二月十五日、用紙半紙型、京城日報社編輯局新年詞壇に宛て投稿の事

朝鮮鑛業指針　宮崎雪堂著
元帥伯爵長谷川閣下題字
貴族院議員松浦閣下題字
附 朝鮮鑛業法令
著者ハ律學多才ノ士ニシテ幾多鑛業家ノ重用タリ一年ノ歲月ヲ費シテ本書ヲ公刊セラル今其大要ヲ擧グレバ第一章總論▲第二章鑛業ノ變遷▲第三章總府ノ施設▲第四章鑛物ト質▲第五章朝鮮▲第六章鑛業ノ趨勢▲第七章補遺▲第九章法規
附朝鮮鑛業地圖ヲ添付セリ敢テ鑛業家及一般實業家ノ一讀ヲ勸ム
發賣元 京城日報社代理部 京城太平通 電話構內十三番 振替京城一〇〇番

東洋大學教授 ドクトル・ヒーロソフィー 渡邊海旭先生著
歐米の佛教
近來歐米の東洋學者が佛教の研究に主力を注ぐ…
發賣所 東京小石川區原町一六八 丙午出版社 大阪屋

天覽 實驗 鶉飼育法 (三版)
樞密院顧問官 外務大臣 農商務大臣 題字 小田厚太郎著
本書內容 一、發育の目的 二、飼育の準備 三、飼料の撰擇 四、產卵法及飼付 五、…
全一冊 貳百餘頁 定價金貳圓 送料八錢
發行所 東京市外高田村雜司ヶ谷三四五 小田鳥類實驗所 電信略號「ウヅラ」振替口座東京二六二三番

登記公告
…金化金融組合登記事項中目的ヲ左ノ通リ變更ス…
大正七年十一月二十五日登記
京城地方法院金化出張所

特許三好式綟手織機
天下一品 完全無缺 使用容易
大阪九條中通四 三好商店

公告
一、洋釘外五十六點
右十一月三十日午後二時入札ス
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

言論界の權威 雜誌中の雜誌
新時代
十二月號 (毎月一回一日發行)
思想家こしての田中王堂
我國現代の哲學者
大藏省の人物
東京商出身の人物
刀圭界の人物
臺灣民間の人物
安田王國の人物
保險界に於ける人物
太陽生命の人物
心理學の講義振
講和會議の根本義
最近歐洲政局の激動
國家主義教育の革新
國民の要望する所
米人の精神
論評窓外雜記
時代大觀
新時代ミ婦人の任務
今後の婦人問題
婦人の精神的革命
婦人ミ勞働
婦人の任務
大戰の終局ミ物質生活の歸結
物心關係より和戰を論ず
現代生活の矛盾を解決すべき最後の標的
大戰の終結ミ經濟的準備
獨逸の社會主義の衰頽ミ其の制限
產業の組織統一
世界戰の政治的結論
其後の大阪朝日新聞
時事新報報知新聞中外商業に質す
帝都の新聞俳壇を鳥瞰して
本年に於ける文壇の推移ミ其將來
當世記者氣質
漫畫
地方新聞の內幕
劇壇魔語
壹千圓懸賞
創作 手首を切る
創作 新らしい道
創作 風の叫び
創作 藝術の搖籃
一部卅錢郵稅二錢 半年一圓八十錢 一年三圓半 振替東京六五二〇
東京芝白金今里町 新時代社

開平コークス
特等品 硫黃…〇・八パーセント 灰分…一二・〇パーセント
一等品 硫黃…一・二五パーセント 灰分…一七・〇〇パーセント
開平耐火煉瓦
耐熱度 セガーコーン三五度 攝氏一七〇〇度
開灤鑛務總局總代理店
西川光太郎商店
大連市西公園町第一號

新荷着
ウヰルカ時製計
銀腕時計
ニツケル腕時計
ガンメタル腕時計
瑞西ウヰルカ時計會社
滿洲總代理店
西川光太郎商店
大連市西公園町第一號

◇園侯の蹶起を促す
園侯首相密議＝副使牧野男說

講和特使問題は未だ決定せざるが原首相は頻りに西園寺侯の蹶起を促し居る如く廿六日午後及び夜の二回園侯を訪ひて密議し只管侯の蹶起を促しつゝあり、園侯にして蹶起たば牧野男副使の一人として隨行す可く今明日中には侯の諾否判明す可く其等の問題より元老も近く會同の筈にて山縣公も二十八日小田原より歸京の筈なり（東京電）

◇園侯遂に承諾乎
牧野男副使は既定の事實

講和特使の人選に關しては紆餘曲折を極めたるが政府筋にては是非共西園寺侯の蹶起を促し副使として牧野伸顯男を加へんとするの必要を認め過般來牽固なる決心を以て其出馬を促しつゝありしが園侯も熱烈なる政府の希望と且は帝國現下の地位に鑑み愈講和大使たるを承諾せる者の如く二十七日朝宮中に參內せるは折柄臨時の議の爲め宮中にありたる原首相に其旨を通じたるものにて西園寺侯にして正使たらば牧野男の副使たる事は既定の事實にして廿六日原首相が園侯を東京驛ホテルに訪ひ歸來直ちに牧野男の來邸を請ひ熟議長時間に亘れるは即ち首相が園侯の意嚮を大體突止めたる上牧野男に副使たる事を交渉せるものにて愈決定の時は特使に對し畏くも勅語を賜ふ可く其出發は今や時日の餘裕を存せざれば決定早々出發の事となる可しと觀測する者あり（東京特電）

◇アルサス入城式舉行期

アルサス入城式は十二月八日ストラスブルグにて擧行するに決し當日佛大統領ポアンカレー氏、クレマンソー氏其他も列席の筈にて多數の行政部下級獨逸人官吏は職務を忠實に盡す限り依然留任せしむ可く各方面に於て人民は好感を以て新狀態に迎合しつゝありと（倫敦電報）

◇英總選擧と政綱

ロイドジョージ、ボナロー兩氏は連名を以て英國總選擧に對する政綱を左の如く宣言せり（倫敦電報）
(一)軍備縮小(二)國際聯盟(三)兵士に對する土地の分與(四)植民地貿易の優先權(五)講和は永遠の平和に對する主要なる保障たらざる可らず

◇我驅逐艦 プリスマス著

海軍省發表＝獨逸抑留艦隊監視の爲め地中海を發せし我驅逐艦『檜』及び『柳』は十一月廿三日英國プリスマスに到着多大の歡迎を受けたり（東京特電）

◇米國海軍力倍加

米國議會に於ける海軍委員の報告に據れば千九百廿年に於ける米國海軍は千九百十七年に於ける海軍の勢力に二倍し八百隻より成る其主なるものは戰鬪艦三十五隻偵察艦百二隻巡洋戰艦二十五隻及び潛水艇四十隻なりと（華盛頓電報）

◇樞密院會議

廿七日樞密院會議定日に就き淸浦副議長以下午前九時半參集十時半宮中東溜間にて開會御諮詢案、大學令中改正の件、高等學校令中改正の件に就き審議し特別委員長たる末松子爵より詳細なる經過報告あり原案可決正午散會せり（東京特電）

◇光榮ある第二特務艦隊
□特務艦隊に勅語を賜ふ

二十六日第二特務艦隊に對し賜りたる勅語左の如し（東京特電）

第二特務艦隊ハ客歲以來遠ク殊域ニ在リ與國海軍ト協同作戰シ克ク其ノ功ヲ達セリ朕深ク之ヲ嘉ス尚益々奮勵努力以テ其ノ重任ヲ全ウセヨ

小林海軍省副官談＝今回優詔を賜はりたる第二特務艦隊は佐藤幸藏少將の麾下に屬し旗艦『出雲』以下驅逐艦十二隻英國より讓受けたる驅逐艦二隻英國の特務船二隻合計十七隻の勢力にして兩驅逐艦は孰れも八百三十五噸級のものなり主として地中海の敵潛艇の破壞、運送船護衛の任に當り本年七月迄に護送せる運送船六百五十隻艦隊の航程二十五萬哩に達し敵艦と會戰せる事廿五回敵艇を擊沈せるもの十數隻に達せり（東京特電）

◇園侯參內

西園寺侯は廿七日午前十時廿分參內天機を奉伺し次で原首相と會見講和大使問題其他重要事項に就き要談同四十分退出せり（東京特電）

◇原首相參內

原首相は二十七日午後一時半參內天皇陛下に拜謁仰付られ內外重要政務、講和大使問題其他に就き委細伏奏し同時間に奉答する處あり同二時退出永田町官邸に入りたり（東京特電）

□天皇陛下行幸

天皇陛下には二十七日午前九時三十分陸軍砲工學校卒業式に臨御優等生に御賞品御下賜あらせられたり（東京特電）

◇郵船株主總會
六割配當 配案可決

郵船會社にては廿六日午後二時より神田青年會館にて定時株主總會を開き近藤社長より當期營業に關する詳細の報告質疑あり次で利益金處分案を可決し飯田常務取締役補缺として[illegible]氏を選任し[illegible]郷誠之助氏が推薦するに決し平穩無事午後三時散會せり（東京特電）

◇選擧法改正案提出されん

選擧法改正案は今期議會の劈頭に提出さる可く大體は昨年政友會より提出せるものを骨子とし選擧權擴張と小選擧區制を採用せるものなりと（東京特電）

◇休戰條約緩和
冷笑を以て迎へらる
何等かの謀策存するあらん

休戰條約緩和に關する獨外相の哀訴は獨逸の泣言に對する冷笑と疑惑との外何等の反響を與へず就中獨逸が故意に聲を大にして當路の窮狀を吹聽するが如き其心事恐らく公明ならざるに出でたるものなる可く或は裏面に何等か謀らむ處あらんも知る可らずこの疑增大しつゝあり（倫敦電報）

◇英獨艦引渡報告

英國公報に曰く大艦隊司令官は二十一日午前九時三十分獨逸艦の主力引渡されたる旨を報告せり（倫敦電報）

◇獨逸の苦肉策
聯合國休戰條約固持に決す

獨逸はハル、ミネット、チオンヴィル一圓の炭鑛區とウルハウゼンのソウダ山地を包容し且つアルサス、ローレン、ルクセンブルグ等をも中歐關稅同盟に包容せんとして凡ゆる苦肉策を弄しつゝあるは事件なるが聯合國に於いては斷乎として休戰條約の條項を固持して讓らず一切の提議を許さざるに決し居れりと傳へらる（巴里電報）

◇露國と講和委員

露國の講和會議委員派遣に就ては未だ列國より承認されたる政府なく渾沌たる情態なれば委員を參列せしむ可きや否や未定也と（東京特電）

◇勞兵會 共和國建設
漢堡を首都とす

コペンハーゲン來電＝獨逸勞兵會はオルデンブルヒ、オエストフースランド、ブレメン、漢堡及びシュレスウエヒ、ホルスタインに於て上記各地方を一團とせる共和國を建設し漢堡を以て其首都とする旨發表せり（倫敦電報）

◇勞兵會と行政權

伯林にて發表されたる處に據れば政府は行政權を擧げて勞兵會の手中に委ね勞兵會は極力革命運動の鎭壓に努む可し伯林に於る行政會議は近く勞兵會代表者大會に依り執行さる可く右會議は可及的速かに召集さる可しと（倫敦電報）

◎戰時中の事業（下）
計畫總資本四十六億

又昨年來の銀行の計畫資本額を著しく增加せるは是れ一面に於て事業界の活躍に因り金融取引を膨脹したるに基づけりと雖も而して一面に於て▲戰時巨利を贏ち得たる事業家中銀行業の乘窩に依り事業資金を得んとし斯業に手を觸るる流行を生ぜること其一大原因をなせるなり次に戰時の投資本と其の拂込みの關係を示せば左の如し（單位千圓）

年次	社債拂込	株式拂込	對計畫資本株式拂込割合
大正四年	五九、三六八	五五、六二〇	二割三分
大正五年	五四、〇二二	二六八、五五五	四割一分
大正六年	三二、四六四	六〇四、三三二	五割九分
大正七年	一三、三三一	四九七、四四〇	三割三分

（一月後十月迄）

即ち事業の拂込額は戰時に於て逐年增加し其計畫資本との割合も增加せり但し大正七年に入り俄に減退せる所以は例年拂込は十一月後に著增する傾向を有すること及び同年の事業計畫中には未だ其成立を見ざるもの多きに依れり又大正四年後の株式拂込總額は十四億四千五百九十三萬餘圓に上り之を計畫資本總額四十六億六千九百二十一萬圓に比すれば▲三割一分餘に當り今後事業の計畫資本の約六割九分餘は今後事業の進捗すると共に漸次拂込まるべき者なり更に戰時事業の勃興と殆ど因果の關係を有する外資の流入に就て見るに戰前即ち大正三年十月末に於る我國の正貨保有高は總額約三億五千三百萬圓を示し內地現在高一億三千三百萬圓海外現在高二億二千萬圓に過ぎずして而も在外決濟上我國は債務者たる地位を脫するを得ざりしに最近の正貨保有高は十五億千三百萬圓に上り差引純額十一億六千三百萬圓を增加し又戰時の國際貸借は我國をして戰中に於て我國は[illegible]の地位を獲得せしめ大

▲英佛露諸國の債務償還に放資せる額五億七千七百九十萬圓に對支借款に應募せる額約二億圓を有し又戰時對外債務の償還されたる額は政府外債二億六百萬圓、市外債五千四百萬圓、銀行借入金償還三千二百六十九萬圓に達し之れを右正貨增加額に合算するときは二十三億三千四百餘萬圓に上るべく此外各銀行が現に在外に於て保有する正貨約五億圓民間の對外放資額等を加算するときは實に莫大の外資の流入額は約廿億圓に達したる勘定なり而して之を戰時の事業に基づく計畫資本額三十四億六千餘萬圓に比すれば約九割に當る而して計畫資本の約六割は今後に於て拂込まるべきものに屬するを以て▲進むに應じ漸次[illegible]

時事業界の大活況を持續せるに拘らず資金潤澤の觀を呈せるは當然のことなるべし

◇我特使決定

我講和大使は正使西園寺侯副使牧野伸顯男に決定せり（東京至急電報）

◇園侯渡歐期未定
牧野男は來月初旬出發

講和使節西園寺侯に決定せる事は別項のごとくなるが侯は健康上直に渡歐を許さざるを以て副使たる牧野男は外務、陸、海軍の隨員一同と共に十二月早々渡歐す可く御前會議も未だ講和使節の正式任命無きを以て我國にても正式の任命發表は後日となる可し（東京至急電報）

◎京城金融狀況

京城商業會議所の調査に據る客月中に於ける京城金融狀況を聞くに穀物類は依然一高一低の狀態なれど新穀及び棉花の出廻り益々增加したるより此等資出資金の需要を喚起し尚諸工事、結氷期を前に控へたる事とて一層取急ぎ且つ▲冬季用雜貨類の仕入れも用當あり此等の方面に對する資金の移動頻繁なるのみならず一方鮮人側に於ては毎年恆例に依る冬季用の漬物及び薪炭等の準備に要する需用あり一般金融界は先月に比し頗る繁忙の狀況を呈し金利も內地金融の大勢並に前途を慮へし朝鮮銀行は當月十六日より預金の利子を引上げを實行したる爲め市內同業者も月末に預金の引上げを發表し貸出も亦一二厘方の騰貴を見今後益々金融繁縮の氣勢を示しつゝ越月せり今市內▲九銀行の殘高を見るに預金四千四百二十八萬四千二百六十六圓貸出三千三百三十九萬七千八百六十六圓にして之れを前月に比すれば預金に於ては四十萬九千九百二十七圓の減少し貸出に於ては七十七萬三千八十九圓を增加せり而して更に之れを前年同期に比較する時は預金一千五百二十七萬七千三百二十四圓を各々增進せりと

◎民間天日製鹽
旭硝子會社の計畫

若松の旭硝子會社にては從來硝子製造用の苛性曹達の原料を支那山東に仰ぎつゝありしが會社事業の發展に伴ひ其の需要次第に增加し之れが自給を圖る爲め朝鮮に天日鹽田の經營を企て各方面に懇請の結果化學工業用及び漁業用の天日製鹽の許可內容を得たるを以て平安北道定州海岸に鹽田候補地約二百町步を豫定し又黃海道海州郡內にても總督府の保留地外約六百町步を得べく過般實測を終りたるが同社は右の外安岳地方にても約二百町步の候補地を選定する筈なりと

體育講演會

九州醫科大學教授醫學博士櫻井恒次郎氏は氏の專攻する解剖學上より人體に合理的なる體育法を唱道しつゝある事は氏の考案に係る紳士體操により夙に讀者の了知せらるゝ處なり今般博士の來京を機とし朝鮮教育研究會、朝鮮新聞社並に本社主催と博士の講演を請ふ事とせり多數一般の來聽を歡迎す

時日 十一月二十九日午後四時十分
場所 南山町高等女學校講堂
演題 體育法（約一時間半）
主催 朝鮮教育研究會 朝鮮新聞社 京城日報社

◎北鮮航路引上

大阪商船會社に於ては現行北鮮大阪神間の運賃を百石に付三十圓方十二月一日より引上ぐる事となりたるが改正前後の運賃は左の如く變化すべし

	現行運賃百石	改正運賃
阪神元山間	一九〇圓	二二〇圓
同 城津間	二〇五圓	二三五圓
同 淸津間	二〇五圓	二三五圓
同 [illegible]間	二二五圓	二五五圓

▼朝郵も値上乎

朝鮮郵船會社にても北鮮各港と阪神間の運賃を引上ぐべく遞信當局に交渉中なるが當局にては朝鮮沿岸各港間の運賃は引上げを許さゞるもの如きも北鮮各港と阪神間の運賃は若干率の引上を容認すべき模樣なり目下審議中に付不日決定會社に指令を與ふべきがその率は無論補助航路なるを以て商船より低位に置くべしと

◎元山局長新任

元山郵便局長大木乙彌氏は內地某會社に入る爲退官したるを以て其後任には經理課主計係兼調度係主任吉城竹治氏の任命を見近く赴任すべし

人事消息

▲毛利五郎男 二十七日夜入京朝鮮ホテルへ
▲スポンサー氏（米國大使館書記官）同
▲向坂幾三郎氏（勸業模範場技師）同上浦尾へ
▲川上東拓理事 檢診の爲め引續き中なるが二十八日より出勤すべし

◎本年紅蔘製造高

總督府開城出張所管內に於ける七年度の紅蔘製造數量は二萬二千斤にして之れを昨年の製造高に比すれば約一萬斤の減退なりと雖も昨年度は六年生全部と七年生の一部を收穫せるため紅蔘製造數量に著しき增加を見たるも七年度は六年生のみの收穫にして比年の普通成績を示したるものなりと

◎芳賀博士の講演

二十七日午後二時より憲兵隊司令部將校集會所に於て曩に東瀛に出張歸來せる芳賀總督府醫院長の講演會あり來聽者は憲兵將校其他約二百名にて芳賀博士は先づ彼地の氣候と衛生より諸般の施設、產業、事業の現況等に就き懇切に說明する所あり頗る有益にして聽衆に少なからざる感動を與へ五時過終了したり

◎植村正久氏來る

基督教界の權威として重きをなせる植村正久氏は鮮滿傳道の爲め二十九日入京五日間滯在の上說教會及び修養會を開催する由

◎京城地圖配附

土地調查局殘務取扱所にては同局の作製せし番地入索引附の京城地圖を過般の事業終了式に參列したる來賓に夫々配附したり

◎鳥瞰錄◎

▲世界的に人氣を蒐めて居るウイルソン君の名は就中巴里に於て敬意を表されて居る▲先年迄廿年間も流行を續けて居たアールサーヂの服も亦戰前ツリアンと呼ばれて居た帽子も▲更に又キング、ヂョージとか或はニコラス二世とか云はれて居た靴が何時の間にか何れもウイルソンとなつて居る▲此品々は實質が良く平民的で値段も二分の一にも當らぬ程低廉だと云ふ理由から來てゐるのは面白い▲此頃露都や莫斯科の模樣が分らないが聞く處によると依然過激派は亂暴を極めてるらしい▲物價騰貴にも拘らず過激派水兵共の豪奢振りと來たらお話にならぬ素晴らしいもので▲革命前素寒貧であつた彼等は何れも美人の妻女を擁し或一人の如きは結婚披露に四萬八千留の費用をかけて平氣だつたのは驚ろいた▲夫も其筈彼等は袋中缺乏を告ぐると忽ち掠奪團を組織して富豪良民の嫌ひなく人家を襲擊する▲而して一人宛五千留以上の額に達する迄は何處迄でも襲つて步く▲斯樣な有樣であるから全く貧富の別も顛倒し良民の不安痛苦は言語に絕するは勿論▲一方食糧の缺乏は全く途方もない程で以上の苦しみであるから市民誰一人として不平を訴へぬ者はない▲之に對してレニンやトロツキーは又口癖の樣に『今に見ろ獨逸に革命が起るから夫迄辛抱しろ』と言つて居た相だが▲成る程獨逸には革命が起つたが露都は依然として居る▲露國は全く強盜の國と化して仕舞つたらしい

是し近海運賃は大連の豆粕、北海道產雜穀海產物及び西貢米の輸入等に影響し[illegible]米航卅四五圓同地中海四十五圓[illegible]ツク州五圓地中海四十七圓半の比較的高の傭船料を以て三井物產會社の取引切られたり（東京）

▲稅、學校組合費、普通學校費等公課負擔は京城府に在りては內地人[illegible]

鑛業登錄

▲鑛業權設定
[illegible]

萬人必携 實用全書 五冊合本 ▲▲頗る輕便
一卷 新式日用書翰文 四季の時候より婚禮祝賀弔慰見舞通知誘引照會依賴禮狀招待に至る日々必要な手紙を悉く集め本書さへあれば思ふ通りの手紙が即座に書き得らるゝ樣編纂せり
二卷 最新日用辭典 日常最も用ひられて居る須用の語を集め一々簡明なる解釋を附し手紙や文章を作る時忘れた文字をスグ引出し又新聞雜誌の熟語成語もスグ分る便利な辭典也
三卷 祝祭式辭と挨拶 祝賀弔祭式辭披露會歡迎會招待會新年會忘年會表彰會青年會入營餞別會送別會其他あらゆる宴會に於ける式辭挨拶を集め應用自在也
四卷 諸願屆書式 あらゆる願書屆書證書貸借證書其他契約書の手續書式を悉く集む
五卷 新用字引 草書字引 手紙や文字を書く時に漢字を如何に崩してよいか分らぬ時本書を繙けば即座に思ふ草書が書ける
以上五冊合本にて定價一圓五十錢なれど完成紀念のため百部限り特價[illegible]
東京市本郷區[illegible] 有教社

最新刊
日本郵船法 定價五、五〇 送料一八
裏門から 香筒著 定價一圓五十錢 送料八錢
自然の美と惠 定價[illegible]
博物館陳列品目錄 定價一圓
秀吉と家康 定價一圓五十錢 送料八錢
栗山大膳 定價一圓二十錢
京城本町 大阪屋號 振替京城二五七番

廣告
岡崎町一四番地に於て從來營業致居候石鹸製造工場及機械器具一切現存の儘旭町一丁目宅地百貳坪同上建物貳棟此建坪五拾貳坪右の物件御希望の方有之候はゞ讓渡し度候間此段廣告候也
京城旭町一丁目三十番地 朝日石鹸製造所營業部 電話九七三番

資本金 六百萬圓 積立金 金百貳拾五萬圓
株式會社十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話四二〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五九〇番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

鞄製造販賣 高木旅行用具店 京城本町一丁目 電話二五四番一三四番

京城西小門町一二番地 田中丸病院 院長 醫學士 田中丸治平 副院長 醫師 上野和夫 電話八八五番 【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

優等淸酒 地方御斷り
釀造元 福岡縣三井郡川村山 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話[illegible]

マホービン各種
兵庫縣尼崎市 本社 極東硝子株式會社 京城熊平支店

金網入硝子・稿板硝子 磨板硝子・雲板硝子 摺板硝子・雲硝子
御使用先 朝鮮陸軍司令部其他諸官衙廳舍 龍山鐵道倉庫並諸會社銀行倉庫 京城印刷所新築工場

朝鮮一手販賣店 京城南大門通五丁目 協同組商業部 電話長一四三番一七六九番

◎謹告
愈々寒氣が襲來しました米價調節の聲は一轉して炭價調節の叫となつて居ります如何にして寒氣を凌ぎ又何を以て炭價を調節するかが刻下焦眉の社會問題であります▲弊店が採暖裝置として最も經濟的衛生的にして且便利なる宮崎式ペーチカを御推薦するのは獨り個人經濟の爲めのみではありません
京城府漢江通八番地 宮崎組 宮崎吉太郎 電話龍山五四二番 振替口座京城五〇二番 說明書贈呈

[illegible]……平安北道碧潼郡……九十一萬七……千九百六十八坪……
……平安北道……六十三萬二……千五百四十坪……
……三十五坪……平安北道……五萬二千……五十三
……六百三十四坪……四十九萬……

◎海運界亂調子

海運界の大勢は頗る微妙なる亂調子を……見越して商談餘り行はれず……傭船料は那邊に彷徨せるや擬へ……二月渡し期間一箇年にてパシフィ……十一月……(五、一〇〇噸)……

……年度末現在調査に依れば國税、府……に在りては內地人八萬零四百六十……六圓餘人一萬三千七百四十九圓……那人四千五百三十三圓外國人八千……九圓支那人六圓外國人四百七十七……圓計二萬二千零六十圓なるが之を……一戶當り……七十四錢五厘一人當り五十六錢五……厘の割合を示せり

◇講和正使に確定せる―西園寺侯爵◇

◎平和の基礎條件

〃講和會議の重大なる問題〃

〔國際間の紛議を平和的の方法で解決しようといふ國際聯盟〕

㊀『海洋の自由』、米國により主張さるべし

帝國大學に國際法を講じて權威たる立法學博士は外務省の希望で講和會議に列席することに內定したらしいのは既報の如くである同會議で列國の代表者に議せらるる筈の『平和の基礎條件』を博士は其立場から見て曰く『澤山な問題があるなかで『國際聯盟』と『海洋の自由』とが問題の花形ではあるまいか

◆國際聯盟は ◆國際間の紛議を ◆平和的の方法で解決しようと云ふのが眼目で米國の前大統領タフト氏を會頭とする平和强制期成同盟會の主張では、國家相互の談判で解決しない問題は聯盟國間の裁判に附する、そして裁判に附する事項以外の爭議は和解院にかけて仲直りさせる、聯盟國の一が他の聯盟國を相手取る紛議で上記の國際司法裁判か或ひは和解院に附することなく直に

◆戰爭を始めた ◆場合は聯盟國

經濟上軍事上の兩方面から强力を其違反國に加ふると云ふので經濟上の强力とは違反國民に經濟的の利益を與ふる條約の實施停止、國通貿易の全部又は一部の禁止、國家の命令に依るボイコット等で可成り重大な制裁だ、此方法は他の國際司法裁判の判決を有効ならしむることを原則としたものであるが、其

實行に當つて ◆例へば違反國に

對する軍事上の强制を與ふるに就ても國際的兵力の指揮權、其前提の行政部及び司法部との關係、他の聯盟內の諸國との關係及び兵力維持の費用負擔などに就て色々な問題が生ずる譯で且裁判の公正を保つ事も實際上極めて重大なる問題であらう、議論は目下色々だが其中で制決を與ふる迄に深入せず

◆和解院に附する ◆事を强制しよう

と云ふ論が最も有力らしい紛爭國間に其の事情切迫と共に感情激發し危機を生ずる恐れがあるのが和解院附議のため時間の經過に依つて感情が冷め圓く納まると云ふ事のみでも平和維持に持功がある、私は此の合衆國的の評判を好まぬが恐らく米國の兩力主張する所でもあるし如何なる形に於てか國際聯盟は成立するであらうそして

米國に依つて ◆聯盟國內に於ける ◆少數の國との

攻守同盟の無用が主張されはしまいか見やうは色々で國際聯盟は夫自身が純乎たる同盟條約でないから聯盟內の局限條約を必ずしも禁ずるものでない筈だが、若し米國に右の主張があつて成立するとすれば我外交の樞軸たる日英同盟の存在に影響が及ぶ重大事であると云ふのも國民の考ふべき其一だ

◆第二に聯盟國相 ◆互間では工業の

原料其他の輸出禁止などを殆ど如何なる場合にもして貰ひたくない第三には國際司法判決にしろ和解の標準にしろ決して差別あることのものでないと云ふ事が同盟條約の維持に就ては同盟國が違反者でなかつた場合には有効だと云ふ風な除外例を設けたらどうかとも思ふ何れにしても國際關係の一大革命だ次にウイルソンに依つて唱へらる『海洋の自由』も亦大問題だ

◆ウイルソンの ◆言葉を借れば

諸國民が自由にして且不斷他の脅威を受けざる交通を確かむるを趣旨とする海上國際法の改正問題として考ふべきものに私有財産捕獲廢止の問題、戰時禁制品廢止の問題、通商上の封鎖廢止の問題、商船の破壞擊沈に關する問題、水雷敷設制限問題など戰時に於ける敵國の通商に對する處置として此上もない大事である今回の

平和會議が ◆斯麽大問題を如何 ◆に處理するかは來るべき平和の生命に就て極めて重大なることの(奈賀)

大な問題で日本には又日本の立場として主張する事希望する事も少くない國民が是を汎理の問題として學者任せにするなどは大きな誤りだ將來の國運はかかつて此處にあると云つても過言であるまい(東京特信)

◎暗黑の……

〃莫斯科〃 餓死する人々

最近莫斯科から浦鹽に着した人の話に依るに同市は今や赤衛軍の全盛時代にして經濟界、政治界は全く暗黑となり麵麭の賣店は一軒もないので市民は

◇◇袋を 抱へて村落に穀物を買出しに行かねばならぬされば裸麥は一封度三百七十五留乃至四百五十留烏麥は四百留といふ突飛な相場である、斯かる有樣なるが故に餓死するものも尠くない又街路には裸馬の

◇◇死骸 がころがつて居る工場は閉され機械は悉く獨逸人が持つて行つた追々極寒期に入るが燃ゆる石炭が大缺乏を告げ大頭痛の種となつてゐる、さうして毎日何人かの人が逮捕され銃殺されてゐる

◎石造殿の御手入

兩殿下を御迎へ申上る爲

工事に十一箇年を要した大建築今度の御手入でますます善美を

王世子殿下には來年一月御婚儀御終了後妃殿下御同列にて御歸鮮、德壽宮石造殿に御宿泊相成る筈につき李王職繕課にては李太王殿下の思召を享け昨今

▽晝夜兼行 にてその手入を急ぎ居れるが石造殿は曾て紹介せるが如く總工費百五十萬圓を投じ明治三十一年起工以來十一箇年の長日月を費し同四十二年に至りて漸く竣工を告げたる大建築にして外觀裝飾共に善美を極め朝鮮一を以て誇るに足る洋館なりデビソンと云ふ

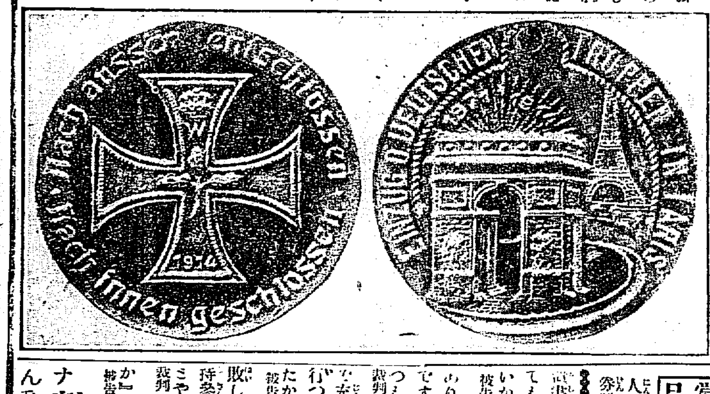
▽米國技師 の設計せるものにして建物の樣式は近世復興式なるが階上には二つの廣間を中心として左右に對の寢室、書齋、浴室を設け表に面したる方には近侍役人の用に供すべき六個の小室あり階下には

▽謁見室を 中央に食堂、諸員溜り、事務室等を設け玄關前は直ちに石階となり居れり裝飾の善美を極め居れることは前記の通りなるが此飾品一切は倫敦メープル會社より態々取り寄せたるものなりと其如何に美はしきかは此一事を以てしても略想像するを得べく目下は營繕課監督の下に

▽壁の塗替 中なるが近く電燈の增設、暖房裝飾、浴室の手入れを行ひ更に內部の裝飾にも一層の趣向を凝らす由なれば善美を盡したる石造殿は益々善美を極め兩殿下が暫時の御殿として眩き許り輝き渡るべし

◇獨逸の夢の銅牌◇

千九百十四年獨逸人は、巴里の討入を堅く信じて居た故に彼等は此大事件の記念銅牌を豫め造つて置いたのであるけれども千九百十四年マルヌ河畔に於て佛軍の爲めに擊破せられたばかりでなく今日の樣な有樣になつて仕舞うた何といふ皮肉なものだらう、それにしても獨逸のやり相な事でもある茲に見るのはその奇怪な銅牌である。



◎殺害の意志は無かつた

龍山情婦殺し未遂事件公判

◇海千川千の女に害ねられた男! 檢事情狀酌量して懲役三年を論告す

龍山漢江通り[illegible]中尾敬三郞(三六)が十月五日龍山驛前太陽館に於て[illegible]の情婦大田まさよ(二[illegible])を拳銃で射殺せんとして果さざりし殺人未遂事件公判は廿七日午後一時半田中裁判長係りにて玉名檢事立會、赤尾辯護人列席の上開廷せられた被告敬三郞は縞の綿繊着物に

▽編笠姿 悄然として看守に護られ入廷被告席に着くや裁判長は開廷を宣し訊問は先づ被告の生立ちよりまさよ落籍から始まる……

『さうです七百五十圓を支拂つて落籍しました』

裁判長『まさよは內地でも刑の前科者で猶豫を受けて居る海千山千の女であるが、ソレを知つて居たか、當はソレを知つて居て夫婦にならうと思つたのか』

裁判長『一中尾と云ふ被告の前に馴染の若松から請れて來て以來二人の間は離れ難い仲となつて一時離別する事もあつて離別した事は無いか』

被告『ソウです、シカシ暫くしてまさよは元の通りになつて與れと再三言つて來るので再び一ショになる事になりました』

裁判長『被告はまさよと逃げて共稼ぎでもすると云ふので九月十[illegible]へ出掛けた事があるが又[illegible]百六十圓を與へ三[illegible]へた事があるか又[illegible]て居たのか』

被告『左樣です、逃がまさよは俄に長春では商賣にならぬと云ひ出したので私は一先づ龍山へ歸つてまさよの身の振方に就て善後策を講じて居たのです……まさよは突然歸つて來ましたので止むなく太陽館に止宿させ身の振方を講じて居たのですがまさよは何となく私を疎外するやうに他の情夫に手紙を出して居る事を見附けましたのでグッと癪に障りましたその上私の借財についての懇願をすげなくイヤだと撥附けてソンな借金をする程ならば內地へ歸ると云ひ出しました、でまさよの私に盡す情のない事を知りましたと同時に私は憤怒の極に達したのです』

裁判長『ソレで……』

被告『ソレで……被告はまさよを殺害する意志は持ちませんでした』

裁判長『イヤ殺害する意志を起したのか』

裁判長『ソレでは何故第一號の被害事實の如く主人館前へ對して自分は女を殺害して自殺する旨の念慮の極に達した時誤つて一發したのですソウして女が殪れたのを見て始めてシマッたと氣が付きましたから私は自殺しようと思ひましたが其時六發を皆發して居た事に氣が付きましたソレで早速憲兵隊へ電話で自首した譯です』

裁判長『ソレでは被告は飽く迄殺意がなかつたと主張するのだネ』

被告『左樣です』

玉名檢事は立つて『被告敬三郞が十月五日六連發の

▽拳銃を 以てまさよを殺害しようとして果さなかつた事は證據十分である而し被告は前途有望の靑年である殊にまさよは海千山千の女である故に情狀酌量して刑法第[illegible]條を適用し最低期の懲役三年に處せられん事を望む』とて[illegible]のる論告に被告は感泣して居たそれより赤尾辯護人より有力なる辯論ありてこは寧ろ殺人未遂として處刑すべきものに非で傷害罪として處刑あらたし尚情狀酌量ありて二箇年間刑の執行猶豫ありたしと述べ裁判長は十一月卅日公判言渡す旨して午後三時閉廷せり

懸賞募集 新年文藝

課題 ▽和歌『寄年祝』▲俳句『雙六』▽川柳『雙六』▽俗謠『數入』▽ものは付『明るい物は』▽一口噺『平和に關するもの』▽下句付『アラ嬉し』▽謎『講和とかけて』

制限 (一人に付)一題に一首又は一句、但し一人に幾題投稿するも可し(用紙)葉書又は同型の紙(〆切)十二月十五日(注意)題毎に別用紙に認むる事、京城日報社編輯局新年文藝係宛送附する事

賞品 (各題に付)▲一等一圓(一人)▲二等五十錢宛(二人)▲三等卅錢宛(三人)(但し本社代理部の特製…)

電氣姫(一)

◇交換臺に掛る迄

笑ひたい乙女十七を職業婦人として……

乙女十七、笑ひたい盛りだ、華やかな盛りだ。小學校を出てから間もなく海老茶かカシミヤの袴はいて學生と交換手、小學校時代の親友も『卒業の歌』を最後に校門を出ればはやくも深い溝を其處に作る、それがやがて一方からはまあ誰々さんは交換手になつてるのよ』一方では『今朝も誰々さんを見てよ、曖に變つてねわッンとすまし込んで居るのよ』と陰口に出ようといふもの併し後者の斯う云ふ噂には羨望の色があり〳〵と讀まれる、と言つても決して記者の同情が誤つてゐる譯でもあるまい、本町一丁目の赤煉瓦の構門を潜つたら八時間乃至九時間の勤務を終るまで黑の事務服の上へ頭から胸に銀色の金具の光る受話器を掛けてパッパッと光るランプとにらめつこの忙しい仕事をしなくてはならない京城の電氣姫は總勢百廿六名居るのであるが目下は四名缺員があるから百廿二名しか居ない、このうち取締が六名、組長が七名、見習が十名殘り百三名が正直正銘な

▽……交換手 である、これで一人前の交換手になるまでには早くても二年はかかると云ふ事であるから一般に考へられて居る程簡單におい それと云うてやれる仕事でもない、先づ尋常一般を卒へて來た志望者を採用してから三ケ月は養成所で育てなくてはならない

▽……交換機 に向つて上手な交換手の仕事振りを見習つて初めの一箇月は主として學科で此の規則の心得等を教へ、次の一箇月は練習用の機械で習はせ、終りの一箇月は本物の

▽……交換機 に向つて上手な交換手の仕事振りを見習つてやつと一本立となり『ハイ何番』とやるのですがこの時期に加入者からの小言を一番多く聞くやうだと鈴木課長は笑つてゐた

と云ふ者の扱ひ方に馴れても一寸した不注意から本人に……

ナ事に恐れる姉さん

被告『……撃つなら撃て……ソンナ事に恐れる姉さんでないと申しました、ソレで』

運動界

▽最終の野球戰(下)

第六回 ダイヤ加藤3Bの先に生き安打小川IB 1 2B間に痛打てプッシュ安打と思ひしも一ノ瀬の好捕IB 小松投は小川を釘付けにし此回加藤投擲ホームを附る千賀Pゴロに凡死小田四球に出で2B盗塁、企つや松浦投手胸中に銅策ありてか2B投じ之に釣られて安立小飛目蹴けて飛び佐々木の好投は之を本壘寸前一點を奪ひ二點となる 第七回 ……京俱佐々木の好投は之を本壘寸前にて刺し……三振に打ちとる……

第七回 ダイヤ賢田Pゴロ久保田如何せしか三振中嶋2Bゴロ凡死京俱佐々木野村加藤の敵球に打撃を封せられて三振又一振一ノ瀬2Bゴロに終るなし(京俱七ダイヤ七)

第八回 ダイヤ福澤四球に出で加藤その如く猛ゴロ2Bに送れば佐々木輕く之を學中に收め走者にタッチするも三振……IBに送球して本日唯一のダブルプレーを演じ滿場喝采……小川3B……成らず京俱與……生きしも小川3B(京俱九ダイヤ七)……最終回……なりダイヤの好援手賢樂京俱……一點を勝越し戰樂轉たる京城九ダイヤ七……

メムバー

ダイヤ：8金田　4賢田　5久保田　2中嶋　9福澤　1加藤　6安立　3小川　7千葉

京俱：4佐々木　6野村　9一ノ瀬　7奥　1松浦　3岩屋　2小坂部　5勝木　8[illegible]

(京俱九プラスAダイヤ七)

◎彌生會の淨瑠璃 鮎澤[illegible]主催の彌生會にては二十八日より三日間京錦に於て秋季大會を催す 忠臣藏茶屋場[illegible]……

▲初日 原松玉郎(香昇)木藏下郎(愛吉)合邦辻(三崎)[illegible]……

▲二日目(廿九日)……

▲三日目(三十日)……

特別大興行
(當る廿八日より)
悲劇十種の內特選新作上場
日活社が金色夜叉二人娘以上大規模の撮影をなしたる
桝本清氏著(活動の世界所載)
父の涙
全五巻 百九十八場
本劇中の劇エレクトラには數百名の登場人員を要せし、近來の大寫となり
松之助扇太郎合同劇
說 朝顔日記
泰西活劇 護神 三巻
御覽に入れ可申候
料金 普通
大正館
京日案內

高價買入御一報
次第參上
不用品 黃金町三電話一八六二 關根古物店

外交集金人採用 府內地理に精通せる者保證人要履歷書持參午前中面談 長谷川町七六 京城殖産會

◎行員募集 希望者ハ履歷書送附アリタシ 鎮南浦 三和銀行

▼廉賣 木炭 根炭 白炭 德用品あり 永樂町壹丁目 大正泥炭店 電話二九一四 共榮商會

毛皮なめし仕立 鳥獸剝製 標本類調製 鳥類毛皮輸出 萬毛皮鳥毛剝製貿易 京城本町二 電話長二〇六五番 江?商行

◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

恩給立替 金は證書引換に御渡し致します 地方は規定手數料御送金 京城府若草町郵便ポスト前入 電話二〇? 西村商會

年金恩給 低利長期御融通 四年半迄保險不用 京城永樂町一丁目 商品陳列館前下 江州屋本店

眼鏡及鏡職人採用 京城黃金町貳丁目電話一〇一五 喜多金光堂

事務員入用 希望者本人來談を乞ふ 京城南大門外 中根商會

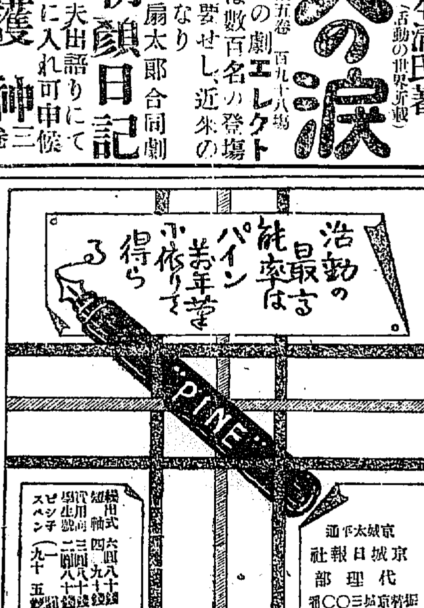
牛乳配達人募集 十八歲以上卅以下數名但內地人 城東小門外 電話一三三番 平山牧場

◎茶舖譲る 町通目抜きの場所 御望みの方は 本町二丁目 ウラシマヤ迄

內外科 小兒科 花柳病
高井醫院
京城本町二丁目(蓊舘前) 電話二一六番
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄
院長 正六位勳四等功五級 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彥

醬油 ⺍大王
キッコー龍ウリー
仁川 [illegible]
日本醬油釀造株式會社

牛乳 廣告
一牛乳 壹錢値上
諸原料ノ高價持續ノ爲メ無據十二月一日ヨリ値上仕候
右謹告候也
京龍牛乳販賣業者一同



京城太平通 京城日報社 代理部 振替京城三〇三番
横用式 六圓八十錢
新軸 四圓九十錢
實用向 三圓八十錢
學生用 二圓八十錢
ピシテ 一圓九十五錢
スペン

塗料 船具 油類 金物
土工用器具及材料
雨覆天幕製作販賣
近江麻布會社製品
朝鮮一手特約店
同免許船燈製作販賣所
旗印石油 合資 販賣所
仁川本町一丁目 電話長五六番 振替京城五九番
村谷本店
支店
仁川府支那町 電話八一九 振替京城五九番
村谷石炭部
平安北道義州城內 電話長二 振替京城九八
義州印刷所

母と子　三十五

北島春石作　森田久畫

菊日和（二）

歐洲の天地に戰亂が彌漫した後、一夜づけの出來星會社が數限りなく續出し、いたづらに資本金と配當の大さを以て誇となす中にあつて、資金百萬圓は極めて微々たるものである。而も日鮮興業と云ふに至つては、何となく小規模のやうに思はれるが、その實日韓併合を記念として創立されてから十年近くの間を、飽くまでも手堅く一歩々々と地盤を固めて來たので、着實堅固なる事業振は、他の泡沫會社などとは同一の論に非ずだ。夫に、表面こそ株式組織にはなつてゐるが、株主は親戚や前社長時代より歴任の古參社員なれば、いづれも獻身的の働きを惜まず、社運は日にく隆盛に赴くばかり。

社長は神崎昇一郎と云つて當年卅五歳。所謂青年から中年に入らんとする過度時代にあるのだが、亡父の遺業を赤操極めて堅實に、繼いで恥かしめざる模範的紳士である。

けれど、一面に於ては極めて不幸なる人で、去年の初秋、由美子夫人と死別した後は、母の幹尾と二人きりで、他に兄弟もなければ亡き妻の忘れ形身もない。

それでゐて、宴會以外には茶屋酒の味も知らねば、藝者とは何であるものか知らず、旅行以外に唯の一夜も外泊した例なく、事業の外に趣味は？と聞いたらば、心靜かに謠曲でもするくらゐなものだ。

いさゝか厳格に過ぎる傾きはあれど、老母の幹尾の外は何の繋累もないので、諸所から縁談を持込まれたのは屈指に遑なければ、初めて亡妻の一周忌を濟ませし後ならねばこそ、今日まで獨任せに不便な生活を凌いで來た。

今朝も規定の時間に出勤した昇一郎は、階上の社長室へ打通つた後、京城より上京中の支店長と種々の打合せを濟ませ、それから秘書役とデスクを圍んで、熱心に下半期の精算をしてゐると、給仕が一葉の名刺を持つて入來たつた。

『猪狩さんがこの仁をお連れに……昨日電話で用件は申上げておいたからと申されました。』

卓上に置かれた名刺を一瞥した昇一郎は、直ぐにこれへ通すようにと命じた後、秘書役を振返つて、

『いや御苦勞でした！あとは細井君にお任せするから。』

『は。』と秘書役は帳簿類を取纏め『明日までには全部が整理濟みにならうと思つてます。』と一揖して社長室から退く。それと入違ひに高松朔平と連立つた猪狩が、狡猾な眼を光らせながら入つて來た。

『や！何か御用中ではごわせんか。』

『いや、丁度片付いたところで。』

さ、昇一郎は待兼ねたように『さあ、御遠慮なくお進みを。』と、給仕に命じて椅子を運ばせる。

猪狩は朔平を顧りながら、社長に向つてはますく慇懃な態度で、

『早速御紹介いたしまするが、この仁は手前が昵懇にいたす高松朔平氏で……ね、高松さん、これに見ゐまするが、強々お噂を申した當會社の社長さんでごわす。』

昇一郎は椅子を離れて、卓近く進み寄ると朔平を見迎へた。

『これは初めまして……僕が神崎昇一郎です、今後は宜しく御交際を。』

『いや、此方こそ日延れましたが……』と、猪狩は芝居氣たつぷり、わざとらしく落着き濟まして『手前が高松朔平でごわす！つい御無遠つて今日まで一面會の機を得ませんでしたが、故御高名は伺つて居りました。』

『そのお言葉は痛み入ります。たゞ亡父の遺業を受け繼いだといふのみ、何一つ爲出來さんのを恥入る次第で。』

初對面の挨拶が濟んで、いづれも椅子に着いたところに、給仕が珈琲茶碗を捧げて來た。

新式豆腐　糧秣廠創製

陸軍糧秣本廠では嚮に簡易麵麭、簡易蔬菜の製法を考案したが今回更にカロリー並に滋養の點に於て優良な豆腐を作り戰地用に提供しようとして丸本一等主計にこれを任となり今夏以來其三種の製法を研究して居たが最も輕便且つ經濟的の製法を考案し尚此製造器具一式に豆腐製造法なる謄寫刷、美濃紙製小冊子を添付し西伯利の出征部隊に向け試驗のため輸送した、この製法及び研究の概要につき丸本主計は語る『如何に兵營生活が簡易を要するからとて菜食主義ばかりでは到底遂げるものでない、其處で必然牛肉の如き滋養物を攝ること、なるが近來の樣に肉類が騰貴し且つ輸送上頗る困難では不都合であるから生豆腐を供給したいと思つた、何分市内で賣つてゐる樣な形では輸送上不便である爲め色々研究の末先づ三つの方法を以て研究に着手した、即ち最初は器具なしに生豆腐を乾燥し之を粉末として更に理化學的應用に據つて元の生豆腐に還元させる方法を講じたがこれは全く理論上のことで實際には風味が惡く又粘著力が弱いため往々元の生豆腐にならなかつたので、第二の方法は粉末として試驗したが出來上がつた分量が非常に減じ且つ蟲や其他で變敗する恐れがあるので永い期間保存し得ないと云ふ結論で不成功に終つたそこで第三の方法は即ち製造法は從來の通りとして器具を改良することに着眼した、即ちこれまでの豆腐器械は所謂挽臼を用ゐてゐるが乘角運搬上不便であるところから肉挽器を豆腐挽きに應用し先づ豆を浸して置いてこれを肉挽器に掛けて挽いた、唯一回では半碎けで滿足に豆汁が出來ぬから其の出口の部分に鋼鐵製の圓筒形の再碎器を据付け内部の組織は反對にロールが旋轉する仕掛でこれを冠せてハンドルを廻轉する時は頗る細かなものとなる、この豆汁を一度煮沸して絞り袋にかけ絞つて適度の苦汁を注し割箱に入れて拵へ上げるので割箱、袋、絞袋等は在來民間で使用してゐるものを用ゐ其他の附屬品は戰地に於てあり合せの飲具を使用することが出來るが更に此の方法で家庭に於て製造したならば諸物價殊に食料の騰い今日大いに有益であらう』云々

珍らしき西洋菓子

帶止と指輪　近頃の流行は派手よりも澁い方

◇冬向きの　帶止めには翡翠は寒い何と云つてもダイヤが當世向き、その外では金の細工物、さなくば古い骨董物と相場がきまつてはゐるがこのダイヤでも一ときりは眞中へ可なり大きなのを篏め

◇その周圍　へ小さいのをデコ〳〵と篏めたのだとか小さいのをいろ〳〵の紋樣にしたのが流行つたが近頃はあまりこちたきを忌み大きいよりも大きなダイヤ一つを白金臺に据ゑるといつた瀟洒な好みが流行り出して來た

◇單純から　複雜へ、複雜から又單純へ逆戻りをした形です目貫類は四分一、素銅といつた澁いところが大分に解つて來たやうです、指輪ではダイヤ、ルビーの外にサファイアとかアレキサンドリアなどが流行つて來ました

◇ダイヤも　帶止のと同じく小さい石をあたのよりも一つ立派なのが好むやうになり、六百圓位のはザラに指を飾つてゐる

日報歌壇

京城　森川歌路

松林一人靜かに雨あとの土踏みしめて歩みけるかな

まどによりかすかし空見れば淋しき色に寂しかけける

力無く腕組み交し霜白き朝の運動場に歩みけるかな

指先の爪の光を見つめつゝ思ひ惜げ冬近き哉

照り殘る街路樹の葉に初冬の澄める光より太陽照れるも

樺色の窓　薬棚の硝子戸に薄々冬の光照るも

京城　芙美子

冬の雨むれのそこなふ悲しびなそゝか如もしめ〳〵さふる

この一日思ふかな　しまごこしに見ゐる空に雲のあそべり

ふたとせし道　ひなれたる此の路なうへときがちにけふもあゆめり

京城　あづさ

県采州加の叔　父より屆きし納棄備かに日ながめて淋しけるかな

木のつまらぬところ　に赤い線引いりしか痛にさはれり

突ふる狂ふけもどれば郵便局の明りもれてさみしまはねる

新刊紹介

▲新國民（二八の二）十五錢、東京神田駿河台、日の國民中學會
▲半島時論（二の一二）二十五錢、京城南洞一九六其社
▲帝國青年（十一）拾九錢東京麹町區永田町一の十九帝國青年發行所
▲法治國（十二）拾錢、東京京橋區新肴町一東京法律事務所
▲習字と作文（十一・十二）錢東京...一八六二習字と作文社
▲詩林（菊花號）參拾錢東京神田東紅梅町二詩林社
▲ツーリスト（六の六）西伯利の旅（木下淑夫）ほか（若月紫瀾）觀光事業と伊太利鐵道（アルナチ）本邦スキー界の將來（福田只植）蒙古の質疑（川崎伊）北京の印象、龍居枯山　滿洲航路の現狀（石渡民樹）その他（非賣品、東京驛内ジャパンツーリスト・ビューロー）
▲婦人家庭雜誌（一の三）婦人と經濟學（天野博士）不幸に泣く婦人の爲に（鳩山春子）其他病人の料理、財産守護法、ないしょなおいしくする法、子宮病賞與金の使ひ方、胴つて容れる贈答品、人生哀話（六篇）姿を美しく見せる衣服の仕立方、創作四編（二十五錢、東京牛込築地町二三其社）
▲少さき者へ（有島武郎著）アンイノイデント、小さき者へ、潮霧、死を畏れぬ男、動かぬ眼目、幽門老船長の幻覺士露を收む、何れも清新なる趣味に富める作品のみにして或は奔放の概あるもの痛快なるもの妖艶なるもの幽幻なるもの等々取りく〳〵情趣を有して飽かしむる快著なり（五十五錢、東京牛込飾監等內...五十錢、東京市本郷區駒込...四八大日本雄辯會）
▲雄辯（二一）論文に創作に何れも新進氣鋭の士を網羅し政治、教育、社會、經濟、人物評等諸大家の執筆になれる讀物豊富にして外に興味中心の創作も...

京城本町　千代田號印舖　電話九八七番　振替口座九八七番

日露聯軍活動　の消息を傳へたるのみにして▲其後の進展に付いては……邦官に任命せられたるを報ぜり由……全露政府と其合國の支援を受くることゝなるべく又前線協商國側の贊同に依る……聞なるも……主義即ち過激派中央政府に對抗せんとする點に於て一致せるを以て……

仁川米豆取引　二十七日の一月限

全國文房具商各位に謹告

謹啓各位益々御隆昌奉賀候平素は多大の御引立を蒙り御厚情之程奉感銘候

却説義きに弊店はラーヂ萬年筆の擴賣に意を注ぎ相當努力を費し候結果御注文高激增仕り豫想外の成績を擧げ申候事一に各位特別の御聲援に外ならず候右併せて御厚禮申上候

然るに世間往々弊店がラーヂ萬年筆の本舖として萬年筆專業の如く解せらる向も有之候へども弊店は一般文房具の輸出入商に有之店主は業界に二十有餘年の閲歴と經驗を有し其取扱商品たる外國製品は英米の著名なる會社と提携し內地製品は各工場と大々的特約の許に提供仕候外時代の流行を考究せる嶄新なる自家製品を網羅致居候ラーヂ萬年筆も營業品目の一部に過ぎず候懇切なる營業振りと在荷豐富優秀なる商品を提供候につき義きに宮內省及び各宮殿下の御買上命を蒙り居候事實は弊店に於て絕大の信望を有する實證に候

殊に近來市場に於ける諸物價の奔騰は底止する處なく商品の價格は常に動搖して定まらず各位御仕入上の御困難を感ぜられ候事御推察に難からず候然るに全國御得意多く有之候得共未だ這般御不便に對する何等の設備を爲す者なき時に於て獨り弊店數年來『酒井文具商報』を毎月發行し有ゆる文房具の標準相場を記載し且新製品を紹介仕居候是れ弊店が顧客本意に營業仕居候一端に候、商品御仕入は各位御信用に係る重大要件と奉存候常に『酒井文具商報』を御高覽價格變動流行の推移を御熟知被遊候事御安全且御便利に候弊店亦一層の勉強を以て貴命に逆かざる可く相期し候間何卒多少に不拘御用命之程伏而願上候

尚『酒井文具商報』は御一報次第直ちに無代贈呈可仕候

敬具

TRADE MARK　LARGE　C. SAKAI

衆議院　貴族院　帝國大學　學習院　慶應義塾　中央大學　明治大學　東京高等商業學校　御用

ラーヂ萬年筆發賣元
文房具直輸出入商　酒井長次郎商店
東京市日本橋區馬喰町二丁目（停留場前）
電話浪花一五百十七番　振替口座四千九百五十三番　電信略號（サ）

尼崎汽船出帆
鎭南浦行　群山下關大阪直行　秀吉丸十一月　日後四時出
赤江丸十一月　日後四時出
大有丸十一月　日後四時出
君が代丸十一月　日後四時出
仁川港埠頭通三丁目（電話五九番）　高杉回漕部

共同汽船出帆（仁川）
大連直行（關東都督府命令航路）
共同丸十一月廿八日前九時出
仁川代理店本町四丁目（電話一七三番）
元山代理店　京城取次店

旦光商會汽船出帆廣告
元山西湖、城津、清津行
三菱丸十一月　日元山出
門司、宇品、神戸、大阪行
十一月　日元山出
釜山　大連回漕部　電話一二三

福山紺寺場南前化粧品ドラッグ支店
京城南大門外　ドラッグ商會
大阪有田ドラッグ商會

にせ物と好商
通貨でも僞造する惡奸ある世の中だから止むを得ざる訳なれど我商會同様の看板を掲げ好商が東京初め各地に簇出し無効の藥劑を販賣せり我商會は大阪朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞と特約し廣告するも何分盲目千人の世の中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製劑御買求の方は…

にせ物　東京其他各地ににせドラッグあり
大阪有田　製藥を百圓進呈

百圓進呈　分析料
帝國醫科大學病院　藥
りん病　ばいどく

京城南大門外停車場通　大阪ドラッグ商會

確實な貴金屬
貴金屬　裝身具　金側時計類　益々豐富に種々取揃ひ申し候
京城本町一丁目　勲時堂　平井時計舖
電話二一二番　振替京城一弐六一番